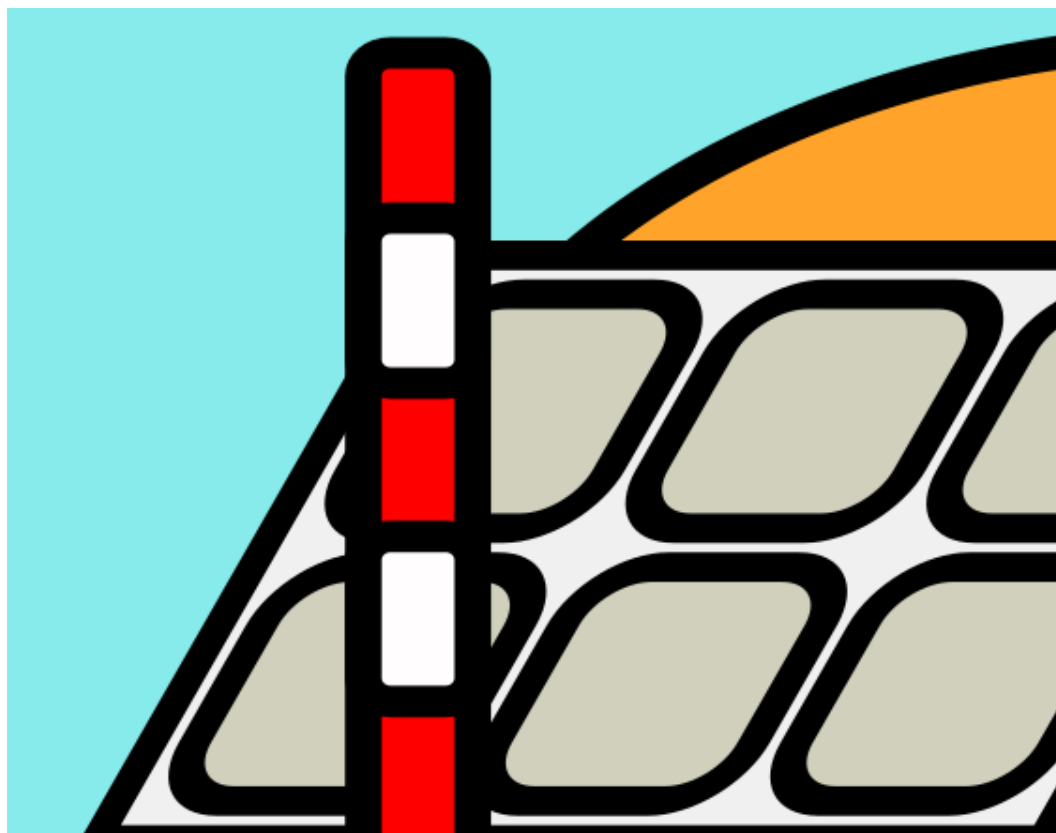

砂防基礎調査支援システム

SABLET

[内業編]

取り扱い説明書



はじめに

このたびは、砂防基礎調査支援システム SABLET をご利用いただき、誠にありがとうございます。

本書は「 SABLET 」における内業システムについての操作をまとめた取り扱い説明書です。ご使用に際してお読み下さい。

2019年1月
五大開発株式会社

使用許諾契約と著作権保護

1. このソフトウェアの著作権は五大開発株式会社にあります。
2. このソフトウェアおよび取り扱い説明書の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
3. このソフトウェアおよび取り扱い説明書は、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
4. このソフトウェアおよび取り扱い説明書を運用した結果の影響や損害については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。お客様の責任において必ず検査を行った上で運用してください。
5. このソフトウェアの仕様および取り扱い説明書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

Android は Google, Inc. の商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

(空白ページ)

目次

第Ⅰ編 ご利用になる前に	1
1. 概要	1
2. プロジェクトと区域	3
3. 動作環境.....	5
第Ⅱ編 操作編	7
1. 基本操作.....	7
1.1. 「 SABLET 」の起動と終了.....	7
2. メイン画面.....	9
2.1. 各部説明	10
2.2. メニューの説明	13
2.2.1. ファイルメニュー	13
2.2.2. 入出力メニュー.....	14
2.2.3. 設定メニュー	15
2.2.4. ヘルプメニュー	16
3. プロジェクトステージ	17
3.1. プロジェクト設定	18
3.2. 写真コメント.....	20
3.3. 測線コメント.....	22
4. 区域ステージ	25
4.1. 区域選択	26
4.2. 区域情報	27
4.3. 区域地図	28
4.4. チェックリスト	30
4.5. 写真一覧	32
4.6. 測線	34
5. 調書ステージ	39
5.1. 調書設定	40
5.2. 様式 3-7 写真位置コピー.....	41
5.3. 様式 3-8 出力 様式 4-2 出力	43
5.4. 様式 3-8, 4-2 画像出力	49
5.5. オフセットシェープ出力	50
5.6. 上下端点シェープ出力	52
5.7. 測線 CAD 出力.....	54
6. 外業とのデータの受け渡し	59
6.1. Windows パソコン(内業)と Android タブレット(外業)間でのデータの受け渡し.....	59
6.2. 外業へデータを出力(区域情報を出力)	62
6.3. 外業からデータを入力(写真一覧へ取り込み)	64
7. IF ツール変換.....	67
7.1. SABLET ファイルを選択	68
7.2. IF ツールファイルを選択	68
7.3. 様式 3-8 出力	69
7.4. 様式 4-2 出力	69

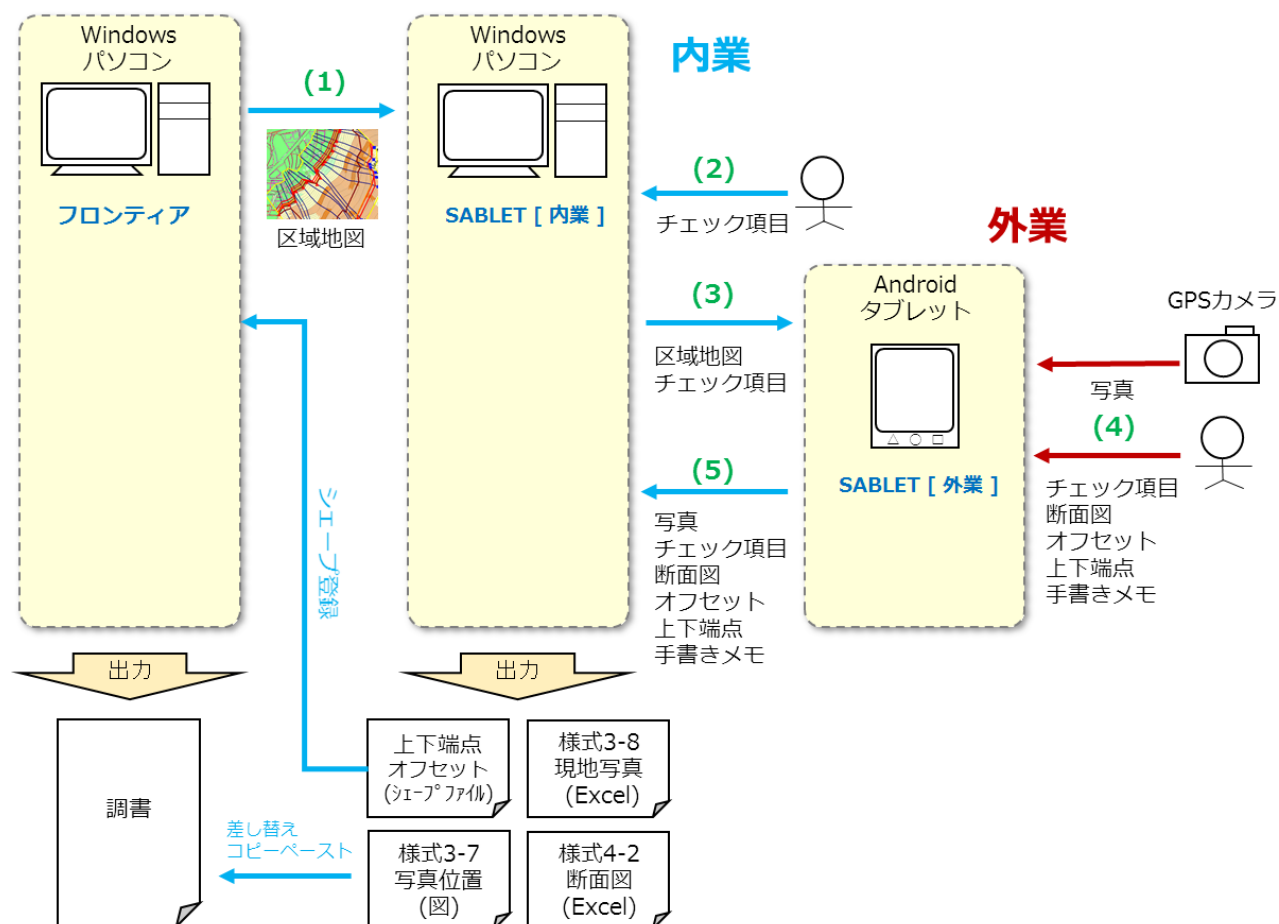
第I編 ご利用になる前に

1. 概要

「SABLET」は砂防基礎調査業務の効率化を目的としたシステムです。
現地での区域の確認・選定(外業)、調査結果の取りまとめ(内業)を支援します。

本システムは、内業の作業を行なう Windows パソコン上の「内業システム」と、外業時に携帯して情報の入力や確認を行なうAndroid タブレット上の「外業システム」から構成されます。

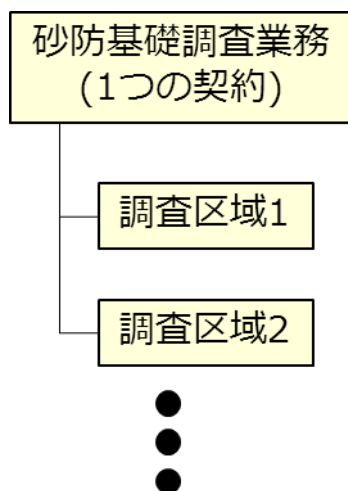
主な作業の流れは下図の様になります。



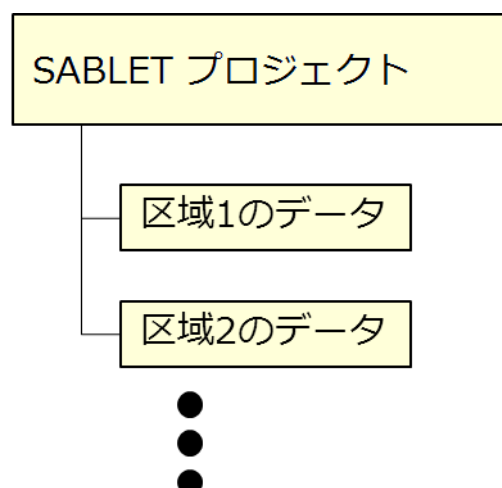
(空白ページ)

2. プロジェクトと区域

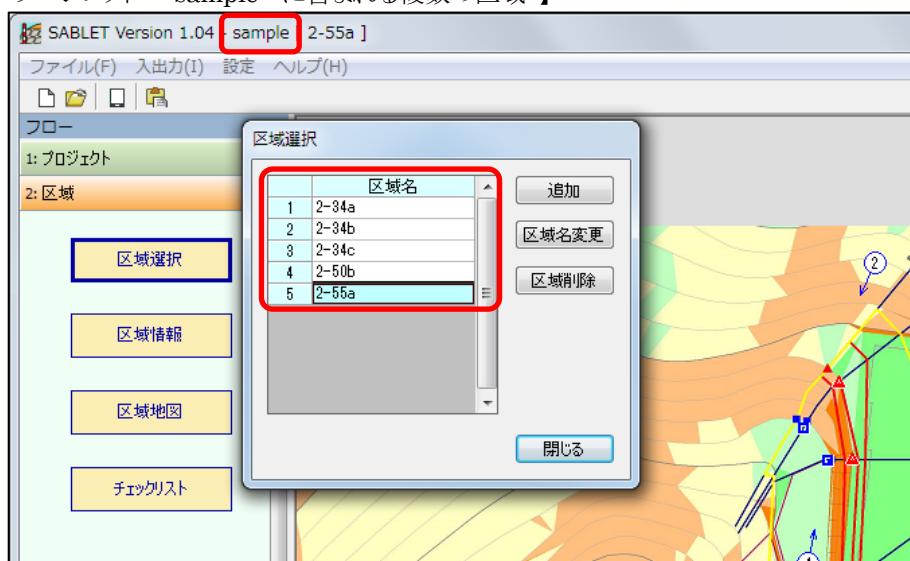
砂防基礎調査業務を行う際には、1つの契約で複数の調査区域が含まれます。



本システムでは、この1つの業務(契約)を“プロジェクト”と呼び、1つのプロジェクトで複数の区域を扱えるようになっています。



【 プロジェクト：“sample” に含まれる複数の区域 】



(空白ページ)

3. 動作環境

「SABLET」を使用するためには以下の環境が必要です。

パソコン	Windows 7 / 8 / 10 が動作する機種
基本ソフトウェア	Windows 7 / 8 / 10 ※64ビット版 Windows では、32ビット互換モード(WOW64)で動作します
CPU/メモリ	基本ソフトウェアで推奨する容量以上であること
ハードディスク	インストール容量 約 80MB
ディスプレイ ビデオカード	1024×768 ピクセル以上の画面の領域(解像度) TrueColor が表示可能であること ※Windows の文字サイズ(テキストなど項目のサイズ変更)は 100%でご利用下さい
ドライブ	CD-ROMドライブ (アプリケーションのセットアップに必要)
プロテクタ	スタンドアロン型 USB プロテクタ ※本製品に付属しています。
その他	Microsoft Excel 2010 以降 PDF 閲覧ソフト (ヘルプの表示に必要)

(空白ページ)

第II編 操作編

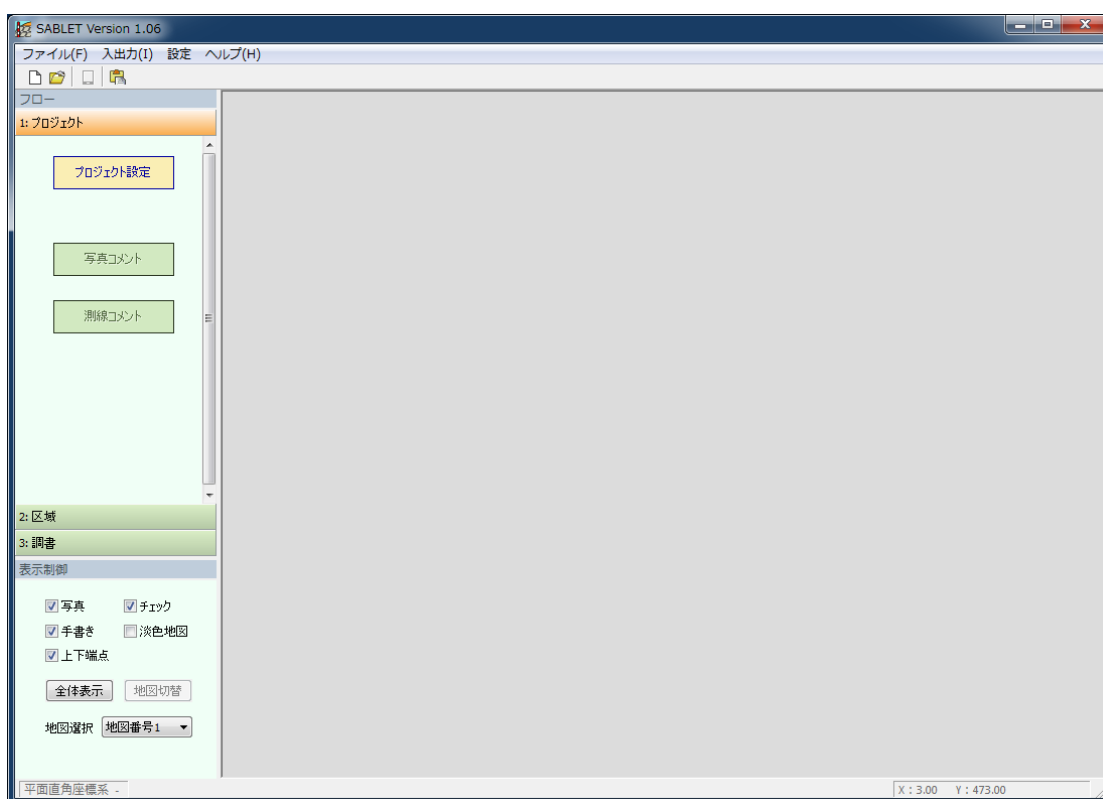
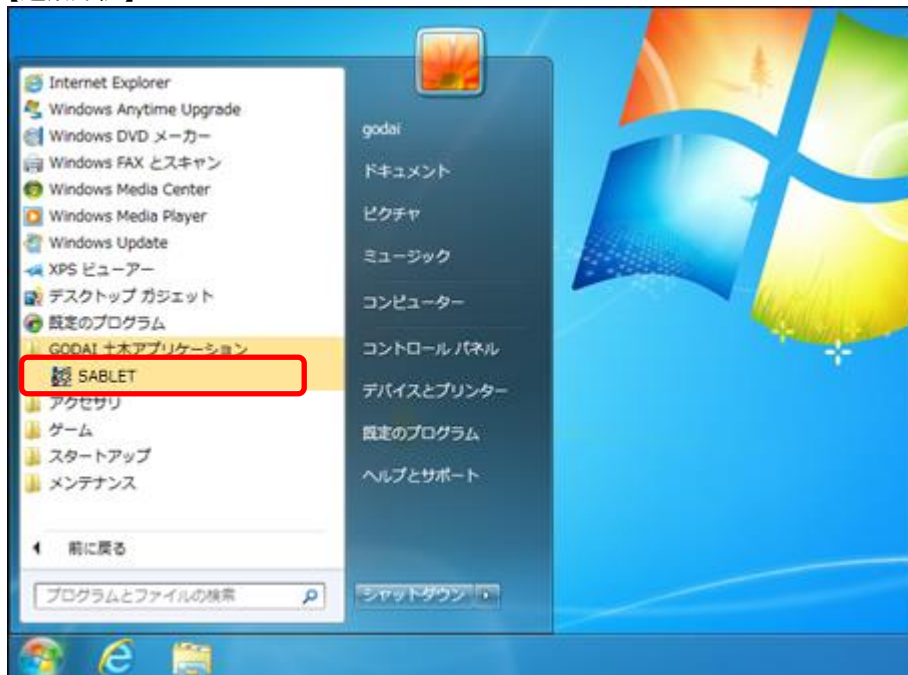
1. 基本操作

1.1. 「SABLET」の起動と終了

■「SABLET」の起動

Windows の[スタート]—[すべてのプログラム]—[GODAI 土木アプリケーション]—[SABLET]をクリックします。

【起動方法】



■ 「 SABLET 」 の終了

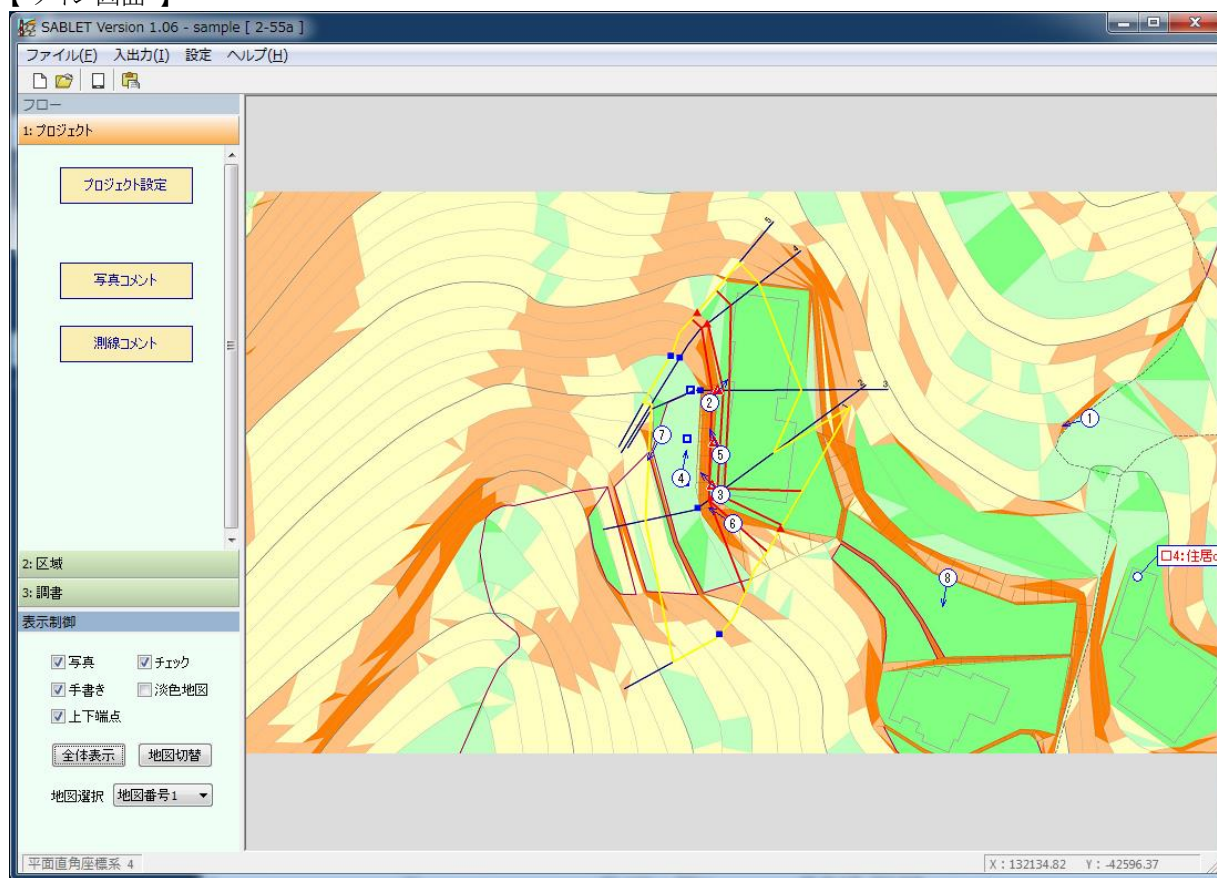
「 SABLET 」 を終了するには、メニュー[ファイル]—[アプリケーションの終了]をクリックします。



2. メイン画面

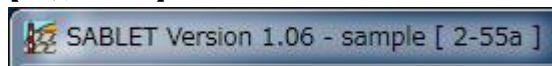
[メイン画面]では、区域の地図を表示し、写真位置など区域全体に関わる情報を扱います。
マウス中央のホイールを回転させることで拡大縮小、ドラッグで移動ができます。

【 メイン画面 】



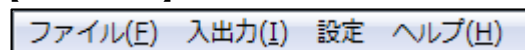
2.1. 各部説明

【タイトルバー】



画面の最上部にある部分で、作業中のプロジェクト名、作業中の区域名が表示されます。

【メニューバー】



[ファイル]、[入出力]、[設定]、[ヘルプ] が表示されています。

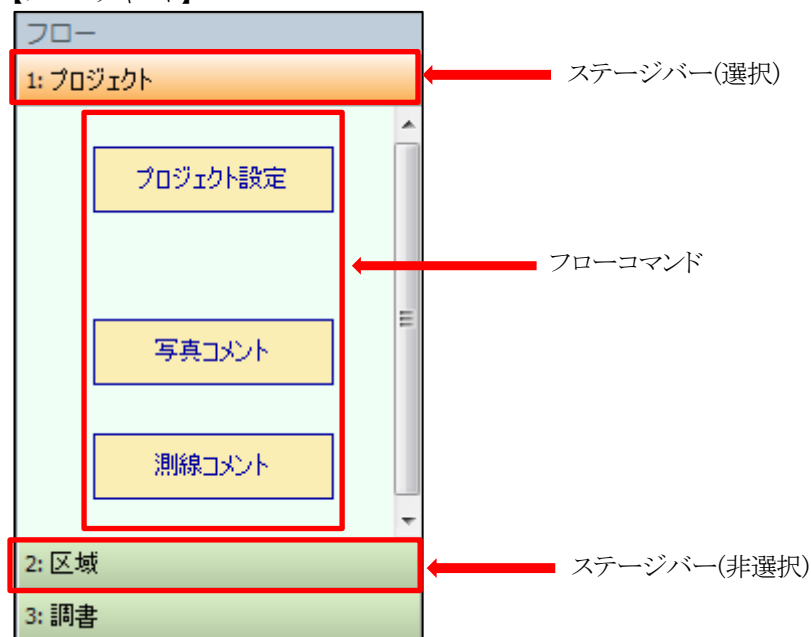
各コマンドの説明は「2.2 メニューの説明」をご覧ください。

【ツールバー】



アイコンを並べたメニューの一種で、クリックするとそれに対応するメニューコマンドが実行されます。

【フローチャート】



メイン画面の左側に表示されているエリアはフローチャートになっており、ステージバーとフローコマンドで構成されています。

「SABLET」は3つのステージで構成されており、**1:プロジェクト**、**2:区域**、**3:調書**があります。ステージバーをクリックするとステージが選択状態になり、そのステージのコマンドに切り替わります。

フローコマンドは基本的には上から作業の流れに沿った順番で配置しています。

フローコマンドをクリックすると、主にダイアログと呼ばれる作業画面が表示されます。それぞれのフローコマンドに合ったダイアログが表示されますので、条件の設定や結果の確認を行ってください。

【表示制御パネル】

表示制御

☒ 写真
 ☒ チェック

☒ 手書き
 ☐ 淡色地図

☒ 上下端点

全体表示

地図切替

地図選択

地図番号1 ▼

メイン画面の地図上に表示する写真位置等の情報の表示/非表示を切り替えることができます。

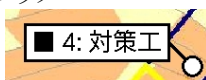
- 手書き



- 写真



- チェック

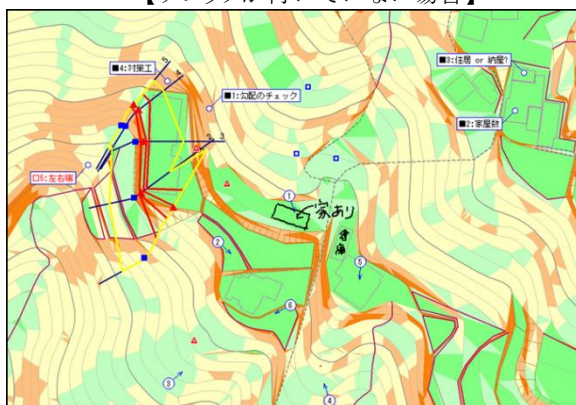


- 上下端点

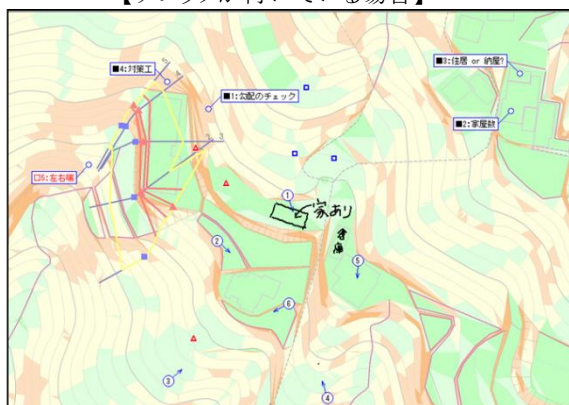


- 淡色地図

【チェックが付いていない場合】



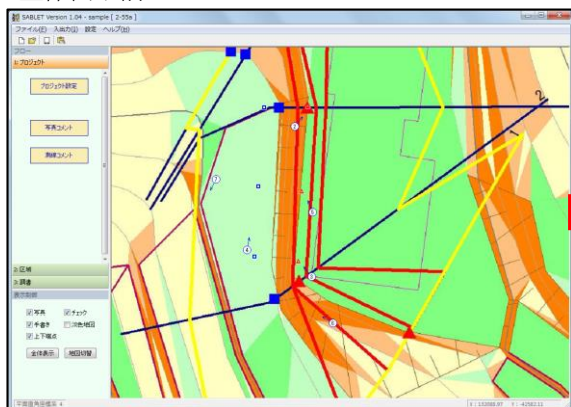
【チェックが付いている場合】



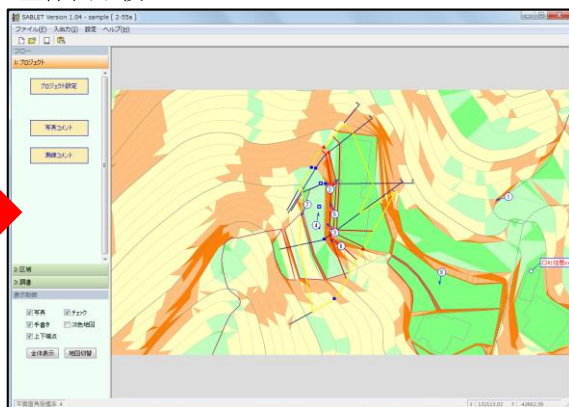
[淡色地図]にチェックをつけるとメイン画面全体が白くマスクされます。

[全体表示]をクリックすると、区域地図全体が見えるように表示します。

・全体表示前



・全体表示後



[区域地図]画面で複数の地図を読み込んでいる場合、順繰りに地図が切り替わります。

[地図選択]画面で複数の地図を読み込んでいる場合、任意の地図に切り替えることができます。

【ステータスバー】



画面の下部に表示されており、現在開いているプロジェクトで設定している平面直角座標系番号と、メイン画面上でのマウスカーソルの座標が表示されます。

2.2. メニューの説明

2.2.1. ファイルメニュー



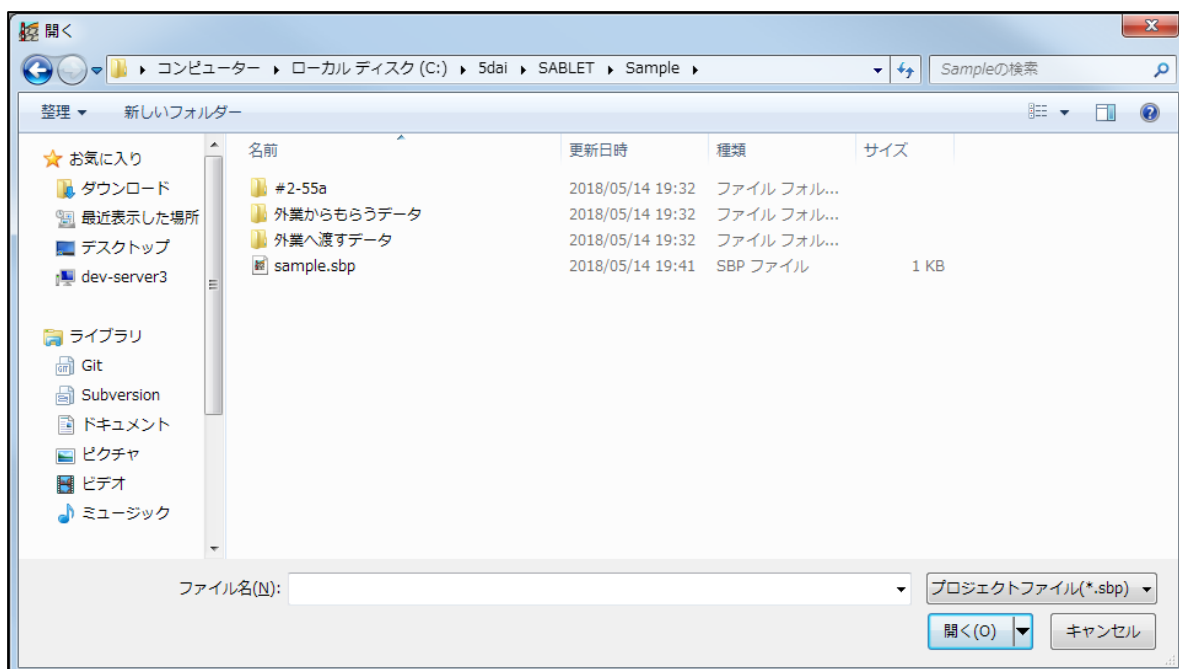
【新規作成】

「SABLET」のプロジェクトを新規に作成するには、メニュー[ファイル]―[新規作成]をクリックします。

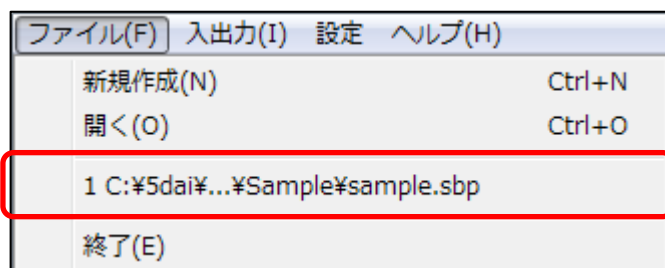
【開く】

「SABLET」のプロジェクトを読み込むには、メニュー[ファイル]―[開く]をクリックします。

開くダイアログが表示されますので、ファイル名を指定してください。

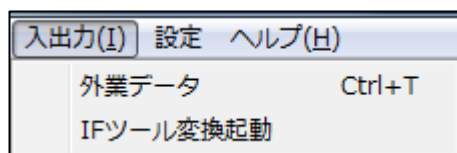


また最近使用したファイル名がメニューに追加されますので、そのファイル名をクリックすることでも開くことができます。



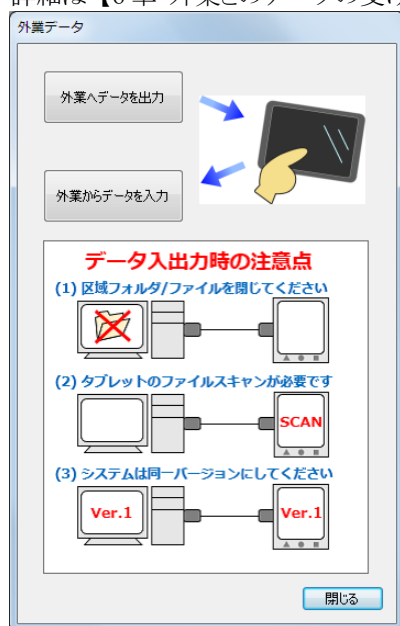
なお本システムでは、データ変更時に自動的にファイルへの保存を行なうため、保存に関するメニューはありません。

2.2.2. 入出力メニュー



【外業データ】

Android タブレットへの区域データを出力する、または Android タブレットからの区域データを入力する事が出来ます。詳細は【6 章 外業とのデータの受け渡し】を参照して下さい。

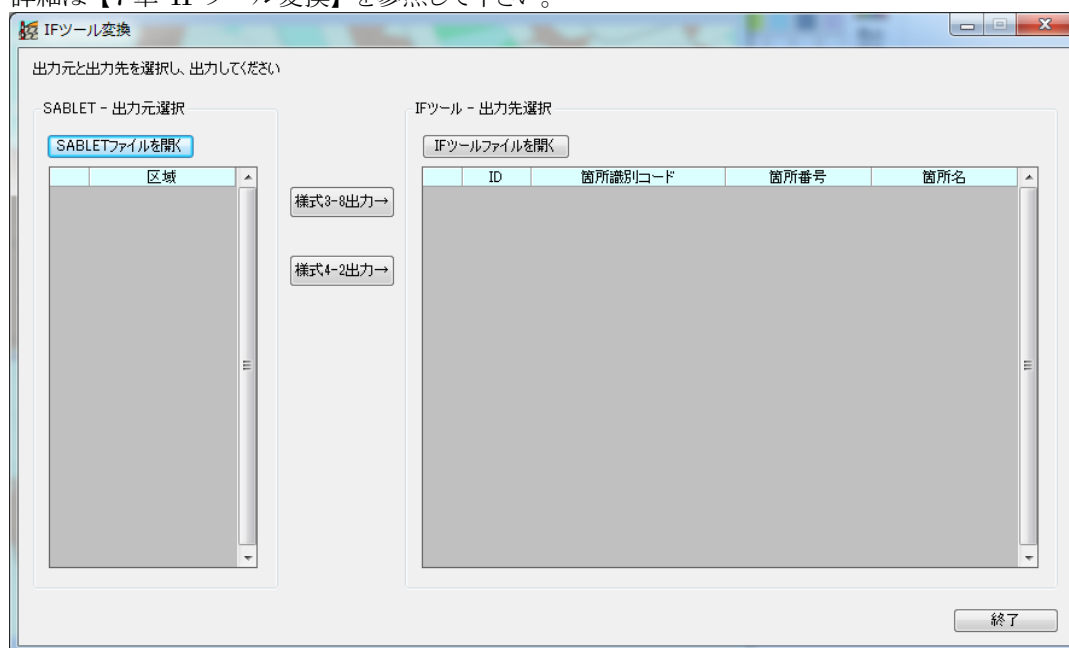


【IF ツール変換起動】

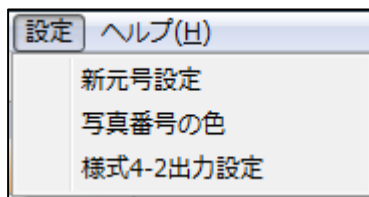
IF ツール変換を起動します。

IF ツール変換は SABLET の保存データを IF ツールのデータに変換するツールです。

詳細は【7 章 IF ツール変換】を参照して下さい。

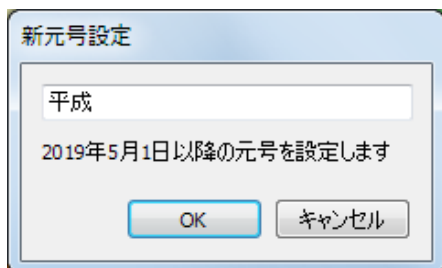


2.2.3. 設定メニュー



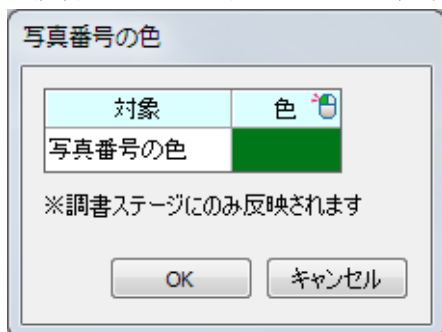
【新元号設定】

元号は調査年度や調査日に用います。
本設定は 2019 年 5 月 1 日以降に用いる元号を設定します。



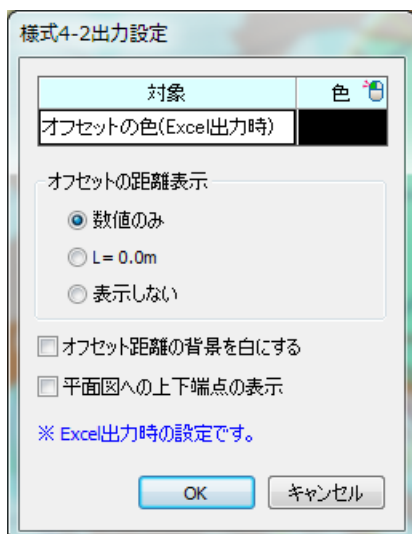
【写真番号の色】

調書ステージにて表示される写真番号の色を任意に変更できます。



【様式 4-2 出力設定】

[様式 4-2]の平面図画像に表示されるオフセットの色を任意に変更できる他、オフセットの距離や上下端の表示方法を設定できます。



2.2.4. ヘルプメニュー



【取り扱い説明書[内業編](PDF)】

内業の「 SABLET 」のヘルプを表示するには、メニュー[ヘルプ]→[取り扱い説明書(PDF)]をクリックします。
本書が開きますので、操作手順や関連する情報を確認してください。

【取り扱い説明書[外業編](PDF)】

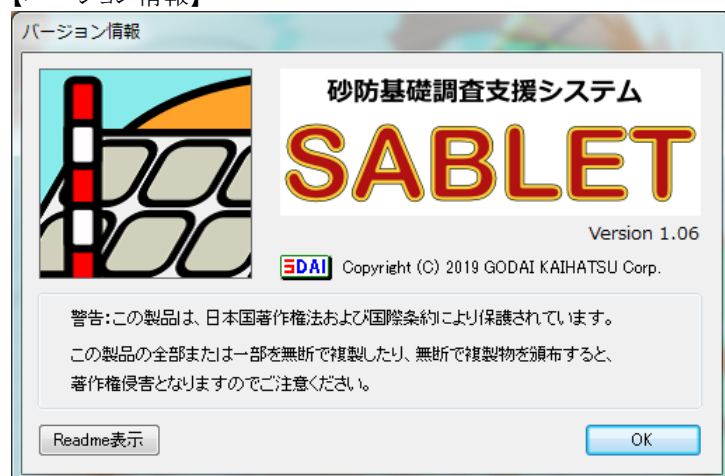
外業の「 SABLET 」のヘルプを表示するには、メニュー[ヘルプ]→[取り扱い説明書(PDF)]をクリックします。

【アップデート確認】

お使いの「 SABLET 」が最新バージョンであるか確認するには、「ヘルプ」→「アップデート確認」をクリックします。
インターネットに接続可能であれば、最新バージョンの有無を確認できます。



【バージョン情報】



「 SABLET 」のバージョン情報が表示されます。

3. プロジェクトステージ

ここではプロジェクトの操作と、プロジェクト内で共通の情報を入力を行ないます。

1: プロジェクト

プロジェクト設定

写真コメント

測線コメント

3.1. プロジェクト設定

プロジェクト設定

自然現象の種類

急傾斜地の崩壊

調査機関

B市事務所

調査年度

平成29年度

提出先

A県

平面直角座標系番号

IV

設定

※平面直角座標系番号は撮影位置の算出に使用します。
外業ヘデータを出力した後に、変更しないでください。

香川県 愛媛県 徳島県 高知県

閉じる

項目	説明
自然現象の種類	自然現象の種類を入力します。 ※帳票出力で使⽤します。
調査期間	調査機関を入力します。 ※帳票出力で使⽤します。
調査年度	調査年度を入力します。 ※帳票出力で使⽤します。
提出先	提出先を入力します。 ※帳票出力で使⽤します。
平面直角系座標番号	平面直角系座標番号を表示します。[設定]ボタンから選択できます。
設定	プロジェクトで⽤いる平面直角座標系番号を設定します。 <u>平面直角座標系番号を設定しないと、次のフローに進むことができませんので、必ず入力して下さい。</u> また、外業データを出力した後に変更しないでください。

現場地図閲覧

系番号

座標系原点の経緯度

経度(東経)

緯度(北緯)

1

I

120度30分0秒

33度0分0秒

2

II

131度0分0秒

33度0分0秒

3

III

132度10分0秒

36度0分0秒

4

IV

133度30分0秒

33度0分0秒

5

V

134度20分0秒

36度0分0秒

6

VI

135度0分0秒

36度0分0秒

7

VII

137度10分0秒

36度0分0秒

8

VIII

138度30分0秒

36度0分0秒

9

IX

139度50分0秒

36度0分0秒

10

X

140度50分0秒

40度0分0秒

11

XI

140度15分0秒

44度0分0秒

12

XII

142度15分0秒

44度0分0秒

13

XIII

144度15分0秒

44度0分0秒

14

XIV

142度0分0秒

26度0分0秒

15

XV

127度30分0秒

26度0分0秒

16

XVI

124度0分0秒

26度0分0秒

17

XVII

118度0分0秒

26度0分0秒

18

XVIII

106度0分0秒

20度0分0秒

19

XIX

154度0分0秒

26度0分0秒

適用区域

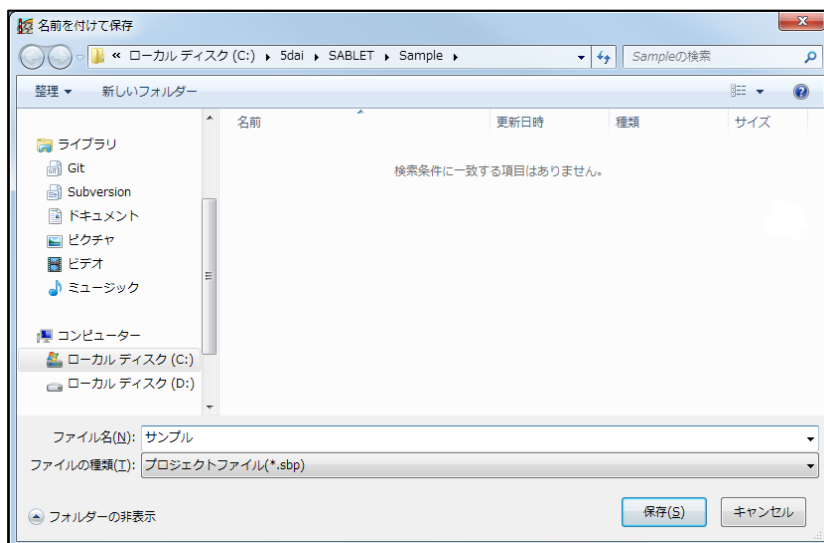
香川県 愛媛県 徳島県 高知県

OK

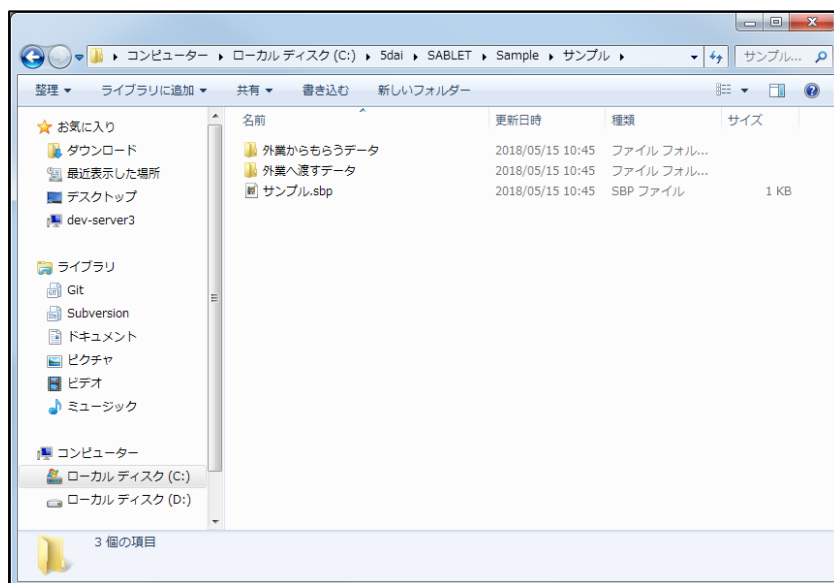
キャンセル

【プロジェクト作成】

まだ保存されていない新規のプロジェクトの場合は[閉じる]ボタンが[保存]ボタンとなっており、それをクリックすると[名前を付けて保存]ダイアログが開きます。



ファイル名を指定して、[保存]ボタンをクリックすると「 SABLET 」ではファイル名の後ろに拡張子(.sbp)が付きます。ファイル名と同名のフォルダが作成されその中に sbp ファイルが格納されます。



ここで作成されるファイル名と同名のフォルダを” プロジェクトフォルダ” と呼びます。

3.2. 写真コメント

写真コメント

調査地全景
左端境界
右端境界
横断測線No.付近の斜面状況
横断測線No.付近の対策施設状況
横断測線No.付近の保全対象となる建物
横断測線No.～No.付近の斜面状況
横断測線No.～No.付近の対策施設状況
横断測線No.～No.付近の保全対象となる建物

外業へ渡す、現場写真のコメント雛形です。
1行で1つのコメントとなります。

OK
キャンセル




写真一覧画面の[現場コメント]や、Android タブレットの写真閲覧画面の[写真メモ選択]で表示するコメントの雛形を設定します。

【写真一覧画面】

写真一覧

☐ マウス操作
☒ 位置 ☐ 角度

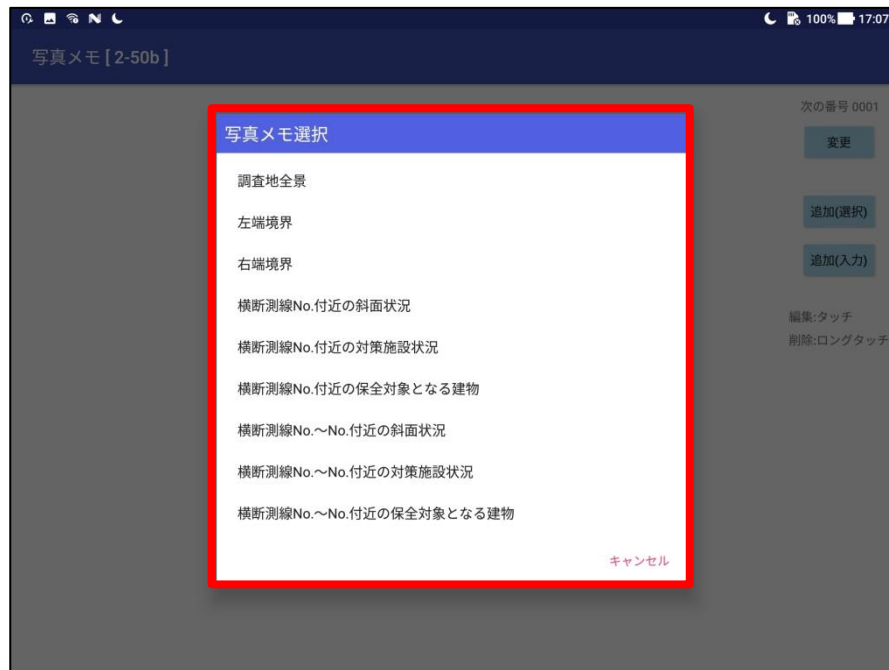
写真取込
↑
↓
削除

現地 写真 番号	写真	X (m)	Y (m)	角度 (°)	調査年月日	ファイル名
1		132049.649	-42552.596	253.3	平成29年8月3日	P0001RIMG7887.JPG
2		132112.950	-42574.000	204.4	平成29年8月3日	P0028RIMG7909.JPG
3		132053.293	-42561.704	235.5	平成29年8月3日	P0031RIMG7917.JPG
4		132066.044	-42584.474	10.6	平成29年8月3日	P0037RIMG7923.JPG
5		132030.401	-42525.156	336.4	平成29年8月3日	P0045RIMG7931.JPG
6		132047.639	-42535.217	172.8	平成29年8月3日	P0047RIMG7933.JPG
7		132047.639	-42535.217	37.7	平成29年8月3日	P0048RIMG7934.JPG

現場コメント

左端境界
調査地全景
左端境界
右端境界
横断測線No.付近の斜面状況
横断測線No.付近の対策施設状況
横断測線No.付近の保全対象となる建物
横断測線No.～No.付近の斜面状況
横断測線No.～No.付近の対策施設状況
横断測線No.～No.付近の保全対象となる建物

【Android タブレット画面】



3.3. 測線コメント

測線コメント

(自動コメント)
 基盤図と現地はほぼ整合していたため、写真・断面図に示す地点を下端とした。
 測線より*側斜面は開発可能な土地が無いため該地点を端部とする。
 基盤図と現地地形の相違のため、調査結果を基に写真に示す地点を下端とした。
 測線より*側斜面は勾配30°未満で急傾斜の条件を満たさないため、区域を分割する地点とする。

外業へ渡す、測線のコメント雛形です。
 1行で1つのコメントとなります。

OK キャンセル

測線画面の[現場コメント]や、Android タブレットの測線編集画面の[コメント選択]で表示するコメントの雛形を設定します。

【測線画面】

測線

追加 削除 表示切替 断面 ☒ グリッド ☒ 基準角度 ☐ 出力範囲指定 施設情報

測線番号コピー

測線番号
1
2
3

現場コメント (自動コメント)
 追加コメント (自動コメント)
 基盤図と現地はほぼ整合していたため、写真・断面図に示す地点を下端とした。
 測線より*側斜面は開発可能な土地が無いため該地点を端部とする。
 基盤図と現地地形の相違のため、調査結果を基に写真に示す地点を下端とした。
 測線より*側斜面は勾配30°未満で急傾斜の条件を満たさないため、区域を分割する地点とする。

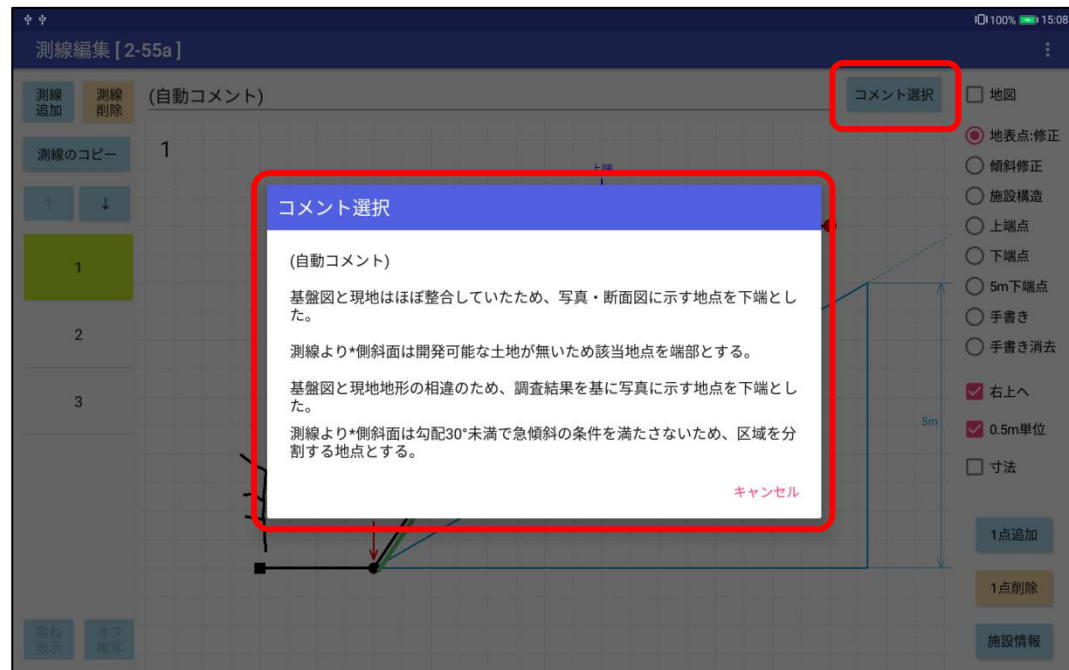
図面内容: 断面図に「コンクリート擁壁」が描かれ、傾斜角30°、高さ5.00mが示されています。上端と下端の位置がマークされています。

No.	タイプ	幅(m)	高さ(m)	高さ寸法
1	なし	2.000	0.000	<input type="checkbox"/>
2	コンクリート擁壁	4.000	6.000	<input type="checkbox"/>
3	なし	4.000	0.000	<input type="checkbox"/>

上端No. 2 基準角度を上端点に表示 ☐
 下端No. 1
 5m下端No. -1

閉じる

【Android タブレット画面】



“(自動コメント)”がコメント欄に入力されている場合は、施設・断面図の有無により、自動的にコメントが設定されます。

①施設無し、断面図無しの場合

当該斜面は現地状況と砂防基盤図が概ね一致する状況であることを現地確認した。

②施設有り、断面図無しの場合

当該斜面は現地状況と砂防基盤図が概ね一致する状況であることを現地確認した。

なお、斜面には 施設構造 が設置され、施設タイプ 対策として評価した または 対策として効果なし。

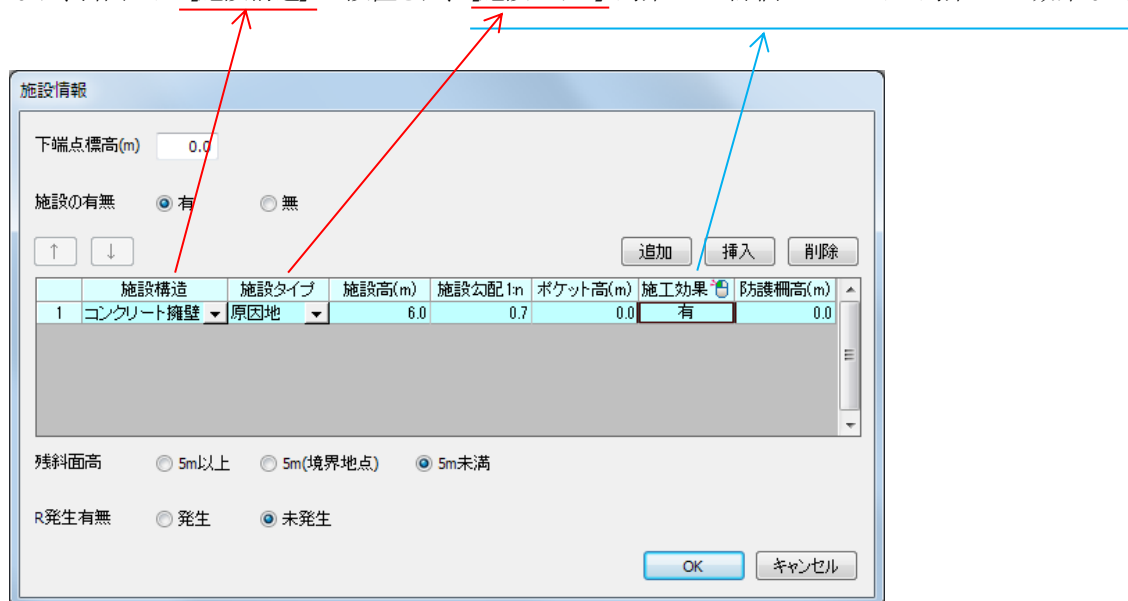
③施設無し、断面図有りの場合

当該斜面は現地状況と砂防基盤図が異なるため、ポール横断にて斜面状況(高さ、傾斜)の把握を行った。

④施設有り、断面図有りの場合

当該斜面は現地状況と砂防基盤図が異なるため、ポール横断にて斜面状況(高さ、傾斜)の把握を行った。

なお、斜面には 施設構造 が設置され、施設タイプ 対策として評価した または 対策として効果なし。



(空白ページ)

4. 区域ステージ

ここでは、区域に対する操作を行ないます。

2: 区域

区域選択

区域情報

区域地図

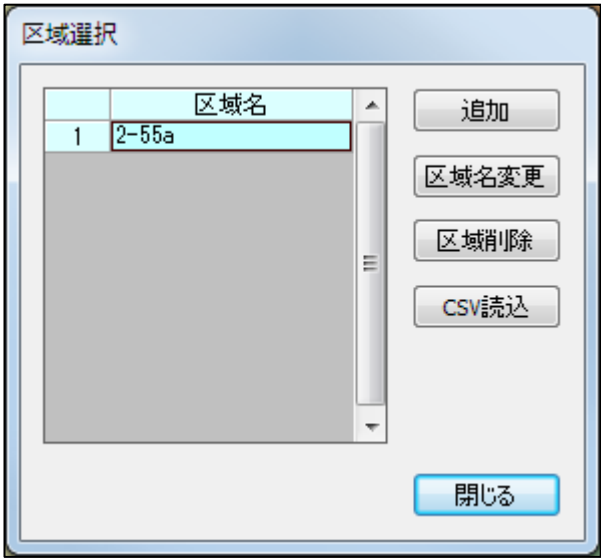
チェックリスト

写真一覧

測線

4.1. 区域選択

フローの区域選択をクリックすると、次の画面が開きます。



項目	説明
追加	プロジェクトに新しい区域を追加します。 <div><div>追加</div><div>区域名: I-90</div><div>OK キャンセル</div></div>
区域名変更	選択している区域の名称を変更できます。
区域削除	選択している区域を削除できます。
CSV 読み込	1行1区域として区域名,箇所名,所在地とカンマで区切られた csv ファイルを読み込むことで、まとめて区域を追加します。

4.2. 区域情報

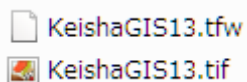
フローの **区域情報** をクリックすると、次の画面が開きます。

区域情報	
区域名	2-55a
箇所番号	2-55a
箇所名	C町(3)
所在地	B市C町
<div>OK キャンセル</div>	

項目	説明
区域名	現在選択されている区域の名称を表示しています。
箇所番号	箇所番号を入力します。デフォルトで区域名が設定されています。 ※帳票出力で使⽤します。
箇所名	箇所名を入力します。 ※帳票出力で使⽤します。
所在地	所在地を入力します。 ※帳票出力で使⽤します。

4.3. 区域地図

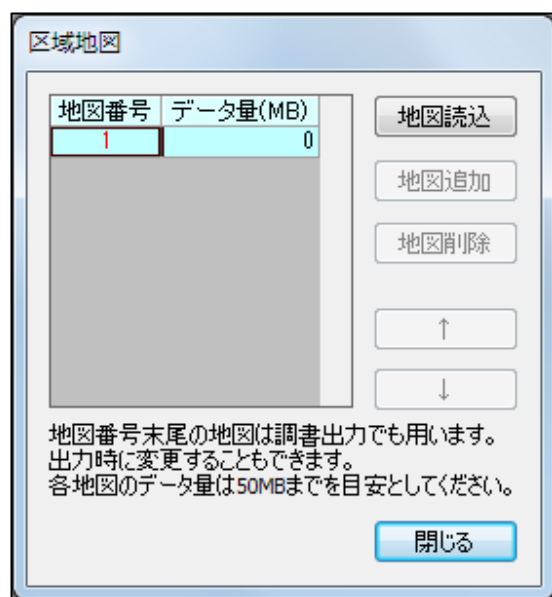
ここでは、フロンティアのシステムから出力した区域の地図を読み込みます。
地図イメージの“.tif”ファイルと、その位置情報を記述した“.tfw”ファイルが必要です。



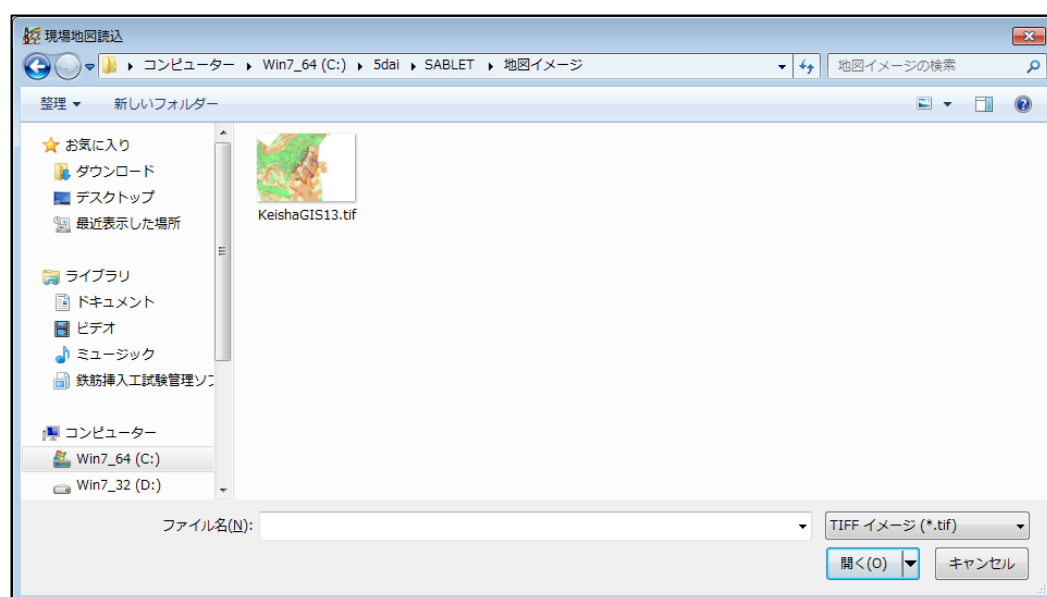
区域は複数の地図を持つことができ、**地図切替**ボタンで切り替えることができます。
また、地図番号が最後の地図は、調書出力で用いられます。

■ 地図の読込

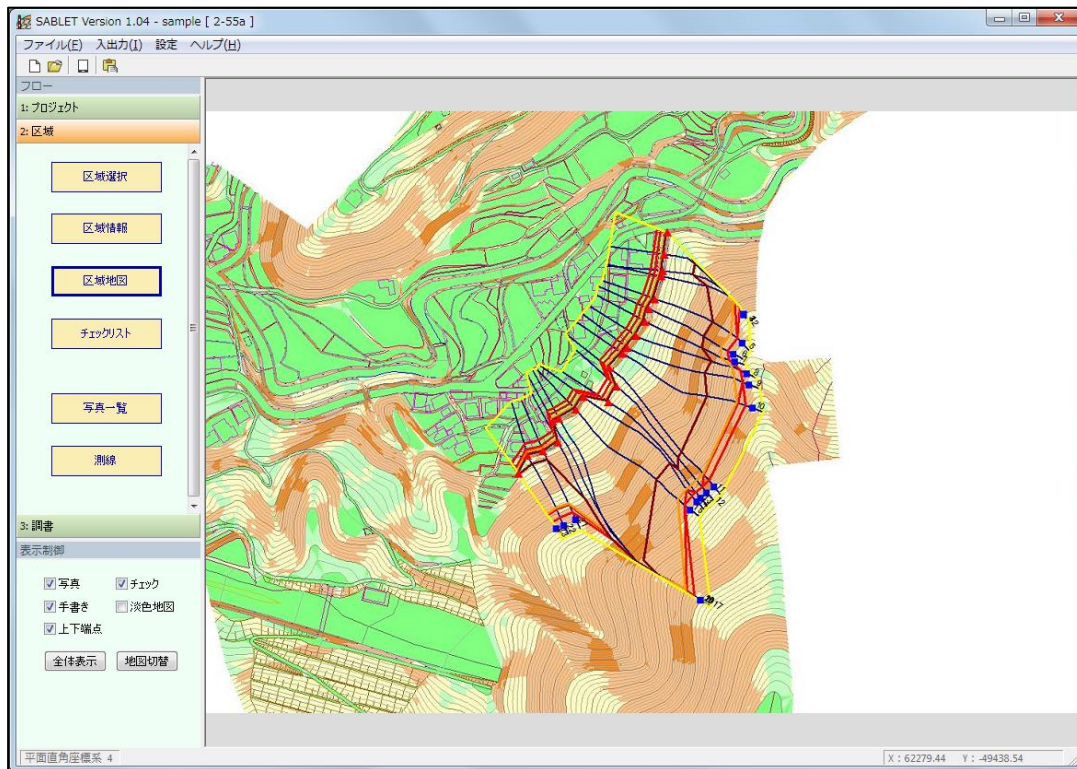
フローの**区域地図**をクリックすると、次の画面が開きます。



[地図読込]をクリックすると次の画面が開きます。



地図画像(tifファイル)を選択し、[開く]ボタンをクリックすると区域へ地図が設定されます。



■ 地図追加

[地図追加]をクリックすると[地図読込]と同様にダイアログが開きますので、追加したい地図を選択してください。

■ 地図削除

[地図削除]で選択状態の地図を削除できます。

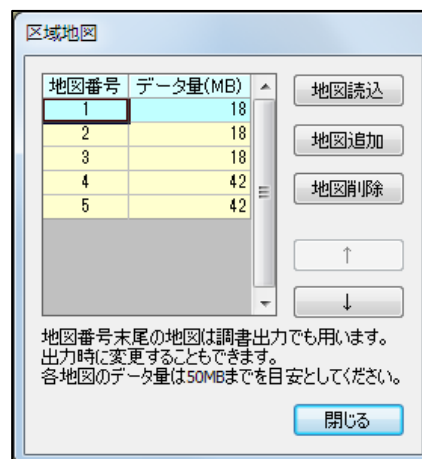
※ データ量について

地図画像は大きな画像となります。

外業で使用するタブレットは、利用できるメモリ容量がパソコンと比べ少量です。

大きな地図をタブレットへ渡すと大量のメモリが必要となり、利用中に突然終了することがあります。

これを防ぐため、地図のサイズ/解像度はデータ容量が 50MB までを目安としてください。



4.4. チェックリスト

フローの「チェックリスト」をクリックすると、次の画面が開きます。

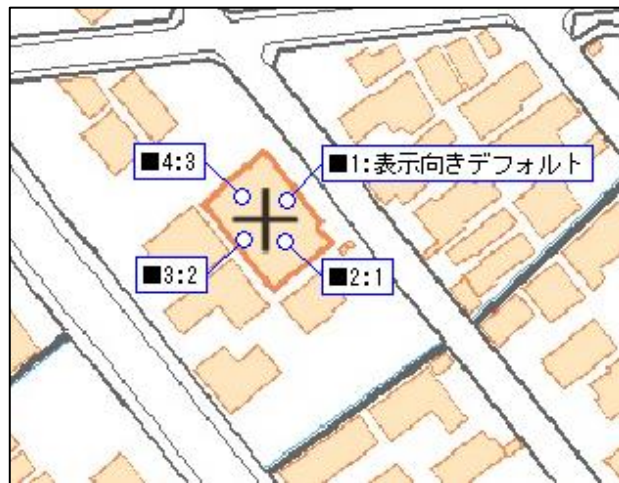
↑↓追加挿入削除マウス操作表示向き位置クリア

項	チェック	チェック内容	X(m)	Y(m)
1	<input checked="" type="checkbox"/>	勾配のチェック	132094.892	-42552.159
2	<input checked="" type="checkbox"/>	家屋数	132093.970	-42433.799
3	<input type="checkbox"/>	住居 or 納屋?	132108.736	-42430.338
4	<input checked="" type="checkbox"/>	対策工	132105.506	-42568.309
5	<input type="checkbox"/>	左右端	132072.974	-42598.995
6	<input type="checkbox"/>	全景写真		
7	<input type="checkbox"/>	横断位置		
8	<input type="checkbox"/>	構造物		
9	<input type="checkbox"/>	家屋と斜面の関係		
10	<input checked="" type="checkbox"/>	水路等		
11	<input type="checkbox"/>	チェック内容1		
12	<input type="checkbox"/>	チェック内容2		

OKキャンセル

項目	説明
チェック項目	メイン画面にチェック項目が表示されている場合、チェックされている状態を、「■:チェック内容(黒文字)」, されていない状態を、「□:チェック内容(赤文字)」で表しています。 <div><div>■1:勾配のチェック</div><div>□1:勾配のチェック</div></div>
並び替え [↑][↓]	<div><div>↑</div>:選択している行のチェック項目を上に移動します。</div> <div><div>↓</div>:選択している行のチェック項目を下に移動します。</div>
追加	[追加]をクリックすると、チェックリストの末尾にチェック項目を追加します。
挿入	[挿入]をクリックすると、選択している項にチェック項目を追加します。
削除	[削除]をクリックすると、選択しているチェック項目を削除します。
マウス操作	マウス操作にチェックを付け、地図上の指定したい位置でクリックすると、選択しているチェック項目の座標位置が移動されます。
座標 XY	チェック項目の座標データを表示します。ここに値が入力されているチェック項目のみメイン画面に表示されます。 直接表の値を編集することはできないので、[マウス操作]にチェックをつけて地図上の指定したい位置でクリックしてください。

項目	説明
表示向き	[表示向き]をクリックするたびに、座標からのびるチェック内容の書かれた領域の向きが右下、左下、左上、右上と切り替わります。



位置クリア	座標データを消す場合は、チェック項目を選択した状態で[位置クリア]をクリックすることで消すことができます。
-------	---

4.5. 写真一覧

フローの「写真一覧」をクリックすると、次の画面が開きます。

写真一覧

☐ マウス操作
☒ 位置 ☐ 角度


写真取込 ↑ ↓ 削除

現地写真番号	写真	X (m)	Y (m)	角度 (°)	調査年月日	ファイル名
1		132077.182	-42509.156	253.3	平成29年8月8日	P0001RIMG7887.JPG
2		132080.007	-42579.092	38.2	平成29年8月8日	P0023RIMG7909.JPG
3		132063.042	-42577.149	318.6	平成29年8月8日	P0031RIMG7917.JPG
4		132066.044	-42584.474	10.6	平成29年8月8日	P0037RIMG7923.JPG
5		132070.298	-42577.041	336.4	平成29年8月8日	P0045RIMG7931.JPG
6		132057.777	-42574.742	301.0	平成29年8月8日	P0047RIMG7933.JPG
7		132074.023	-42587.979	209.1	平成29年8月8日	P0048RIMG7934.JPG

現場コメント
調査地全景

追加コメント

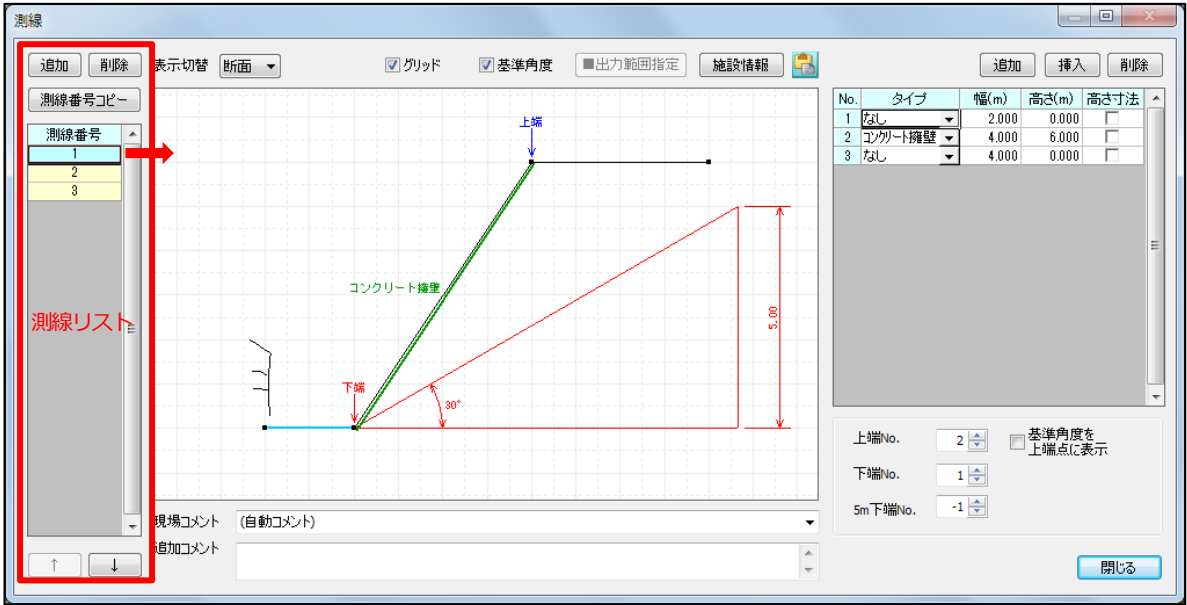
閉じる

項目	説明
現地写真番号	1 から連番で現地の写真についた番号です。調書へ出力する写真の番号とは異なります(これは調書ステージで設定します)。
写真	ダブルクリックすると別画面で写真を閲覧できます。
座標 XY	写真の座標です。メイン画面ではこの座標に現地写真番号が描画されます。 
角度	写真を撮った際の撮影方向です。
調査年月日	調書(3-8)の調査日となります。デフォルトでは写真を撮影した日付が設定されています。
ファイル名	写真のファイル名が表示されます。
現場コメント	写真の現場コメントです。 [写真コメント]で設定したコメント雛形が定型文として選択できます。

項目	説明
追加コメント	写真の追加コメントです。調書(3-8)で現場コメントの後ろに追加されます。 内業でのみ入力することができます。
マウス操作	マウス操作にチェックを付けると、地図上で撮影位置と撮影角度を編集できるようになります。
写真取込	指定したイメージファイルを写真一覧に追加します。
並び替え [↑][↓]	<div>↑</div> ：選択している行の写真を上に移動します。 <div>↓</div> ：選択している行の写真を下に移動します。
削除	選択している写真を削除します。

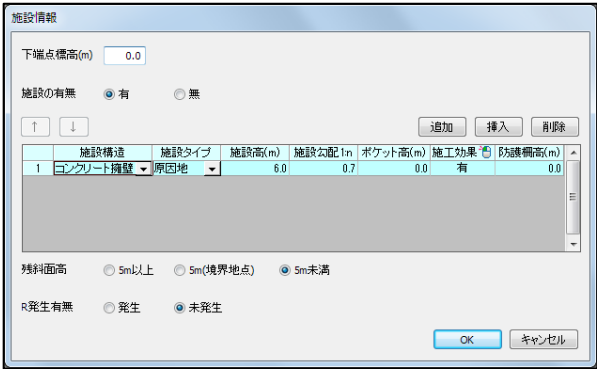
4.6. 測線


フローの測線をクリックすると、次の画面が開きます。
[外業システム]で作成した測線の一覧を閲覧・編集できます。
画面左の測線リストで選択した測線の情報が右側に表示されます。



【測線リスト】

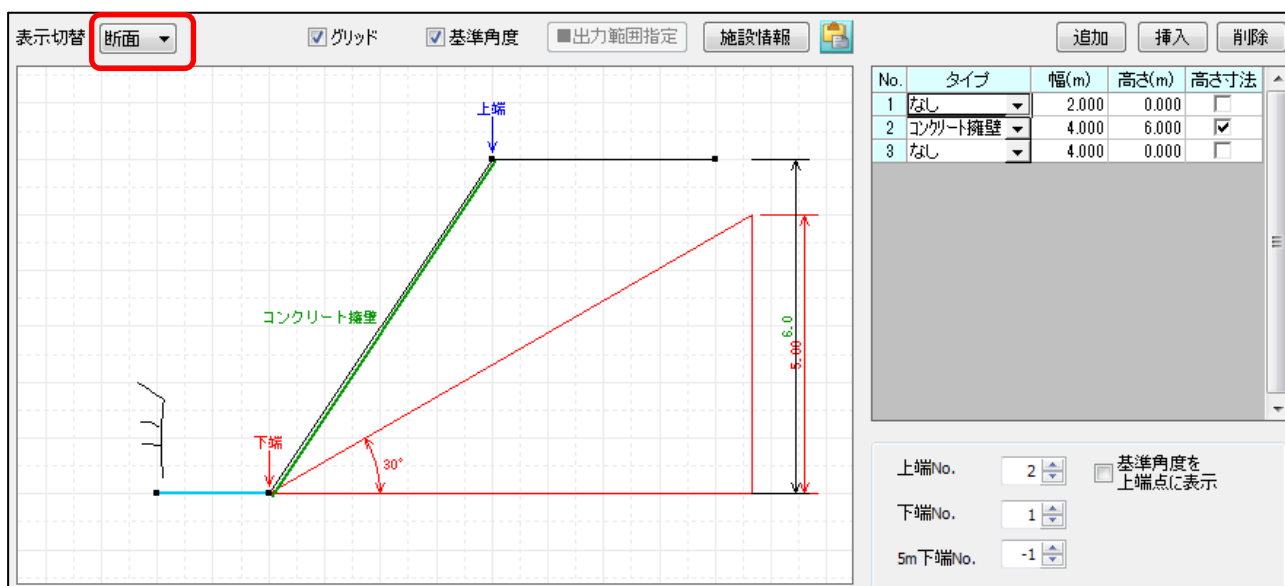
項目	説明
追加	[追加]をクリックすると、測線リストの末尾に新たな測線を追加します。
削除	[削除]をクリックすると、選択している測線を削除します。
測線番号コピー	[測線番号コピー]をクリックすると、選択している測線のコピーが末尾に追加されます。
並び替え [↑][↓]	<div><div>↑</div>:選択している測線を上に移動します。</div> <div><div>↓</div>:選択している測線を下に移動します。</div>
施設情報	現在選択している測線について、下端点標高などの情報を付け加えることが出来ます。



項目	説明
	現在表示している断面または地図をクリップボードにコピーします。
現場コメント	測線の現場コメントです。 [測線コメント]で設定したコメント雛形が定型文として選択できます。 (自動コメント)となっている場合、調書には測線と施設情報の入力に応じた文章が挿入されます。
追加コメント	測線の追加コメントです。調書(4-2)で現場コメントの後ろに追加されます。 内業でのみ入力することができます。

【断面】

コンボボックスで[断面]を選択している場合、以下の情報が表示されます。



項目	説明
追加	[追加]をクリックすると、傾斜リストの末尾に幅・高さ 1m の斜面(地表)を追加します。
挿入	[挿入]をクリックすると、選択している行に幅・高さ 1m の斜面(地表)を追加します。
削除	[削除]をクリックすると、選択している斜面を削除します。
タイプ	描画を行う傾斜タイプを選択します。傾斜タイプは、次の 11 種類です。 <ul style="list-style-type: none"> なし 吹付工 コンクリート擁壁 露岩 法面工 練石積擁壁 空石積 待受式擁壁 その他 法枠 ブロック積擁壁
幅	傾斜の幅を入力します。
高さ	傾斜の高さを入力します。

項目	説明
高さ寸法	チェックを付けた傾斜の高さ寸法を画面上に表示します。
上端 No	上端点となる節点番号を設定できます。-1 は未設定扱いです。
下端 No	下端点となる節点番号を設定できます。-1 は未設定扱いです。 基準となる 30° 5m 高さの三角形も下端点に合わせて移動します。
5m 下端 No	5m 下端点となる節点番号を設定できます。-1 は未設定扱いです。 構造物より上の自然斜面が 5m より高いことを示す必要が生じることがあり、そのような場合に設定します。 5m 下端点から 5m の高さの斜面までの中間に残斜面 5m マークが描画されます。
グリッド	グリッドにチェックを付けると、断面図の背景にグリッドを表示します。 グリッドの間隔は、実線 1m、破線 0.5m で固定です。
基準角度	基準角度にチェックをつけると、30° 5m 高さの三角形が表示されます。
基準角度を上端点に表示	チェックを付けると、基準角度を 180° 回転させ上端点に表示します。

【地図】

[地図]にチェックをつけると以下のような画面に変わります。地図を表示しているときのみ、マウスホイールのドラッグで移動、スクロールで拡大縮小を行えます。

表示切替 **地図** 地図切替 ☐ 淡色地図 ☒ 手書きメモ ☒ 出力範囲指定 施設情報 オフセット 重ね表示 修正 追加 削除

始点X	始点Y	表示文字
132063.07	-42577.09	
132064.57	-42577.01	

上下端点 修正 追加 削除

種類	X(m)	Y(m)
下端点	132064.75	-42578.68
上端点	132065.29	-42583.63

現場コメント (自動コメント)

修正 [オフセット]

オフセットの[修正]をクリックすると、選択しているオフセットの位置や表示文字を編集できる画面が開きます。

オフセット修正		
<input checked="" type="checkbox"/> マウス操作		
<input checked="" type="radio"/> 始点座標 <input type="radio"/> 終点座標		
オフセット切り替え 表示文字消去		
始点	X	132098.51
	Y	-42562.98
終点	X	132079.30
	Y	-42557.20
表示文字		
OK		キャンセル

[マウス操作]にチェックをつけ[測線]画面の地図上をクリックすると、その座標が表の[始点 X,Y]または[終点 X,Y]に代入されます。

[オフセット切り替え]をクリックすることでオフセット円と距離を切り替えられます。

表示文字に入力された文字列は実際の半径、距離を無視して画面上に表示されます。

修正 [上下端点]

上下端点の[修正]をクリックすると、選択している上下端点の種類や位置を編集できる画面が開きます。

上下端点修正		
下端点 <input type="checkbox"/> マウス操作		
X		132055.51
Y		-42566.81
OK		キャンセル

[マウス操作]にチェックをつけ[測線]画面の地図上をクリックすると、その座標が表に代入されます。

追加

[追加]をクリックすると、リストの末尾に地図中央の座標が追加され[修正]画面が開きます。

削除

[削除]をクリックすると、選択している行のデータを削除します。

地図切替

メイン画面と[測線]画面の地図を切り替えていくことができます。

淡色地図

淡色地図にチェックをつけると、[測線]画面の地図を白くマスクします。

手書きメモ

手書きメモにチェックをつけると、外業システムで書き込んだ手書きメモが表示されます。

■出力範囲指定

調書(4-2)に出力する範囲を選択します。

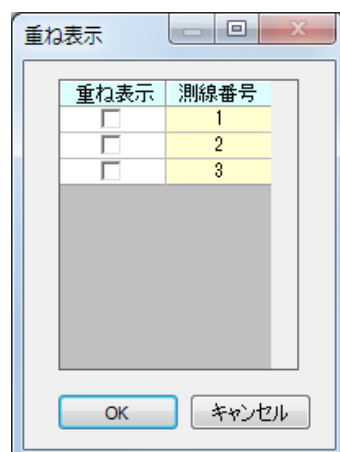
□: 調書への出力は行ないません

■: 調書への出力が有効となり、画面上に赤い枠として出力範囲が描画されます。

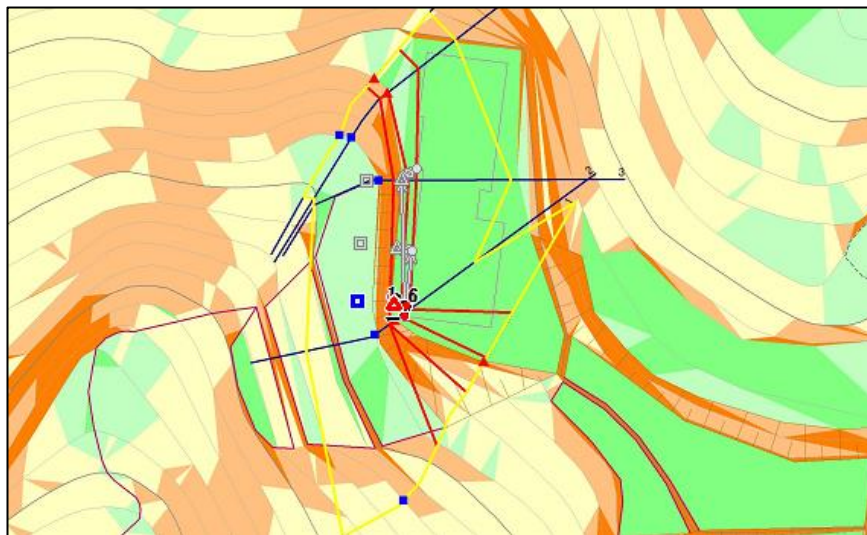
この枠はマウス操作で設定することが出来ます。

重ね表示

[重ね表示]をクリックすると、測線番号のリストが開きます。



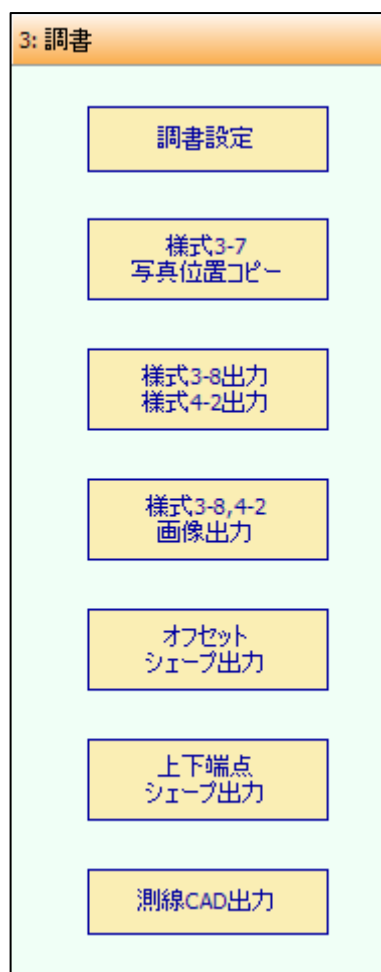
[重ね表示]欄のチェックボックスにチェックをつけて[OK]で閉じると、チェックをつけた測線のオフセットと上下端点が画面上に灰色で表示されます。



測線を追加したり並び替えたりして変更を加えると重ね表示の設定はクリアされます。

5. 調書ステージ

ここでは、調書に関する操作を行ないます。



5.1. 調書設定

フローの「調書設定」をクリックすると、次の画面が開きます。

調書設定

現地写真と、調書の測線・写真番号の対応を設定します

現地 写真番号	撮影日	4-2 写真 測線番号	3-8 写真番号	3-8 コメント
1	平成29年8月3日			1 調査地全景
2	平成29年8月3日	3		横断測線No.3付近の斜面状況
3	平成29年8月3日	1		横断測線No.1付近の斜面状況
4	平成29年8月3日		3	横断測線No.1付近の斜面状況
5	平成29年8月3日	2		横断測線No.2付近の斜面状況
6	平成29年8月3日		5	左端外側の斜面状況
7	平成29年8月3日		4	横断測線No.2付近の斜面状況
8	平成29年8月3日		2	平地

現地写真番号 1



測線番号 未選択



測線番号範囲 1～3

現地写真番号範囲 1～8

設定エラー
なし

OK

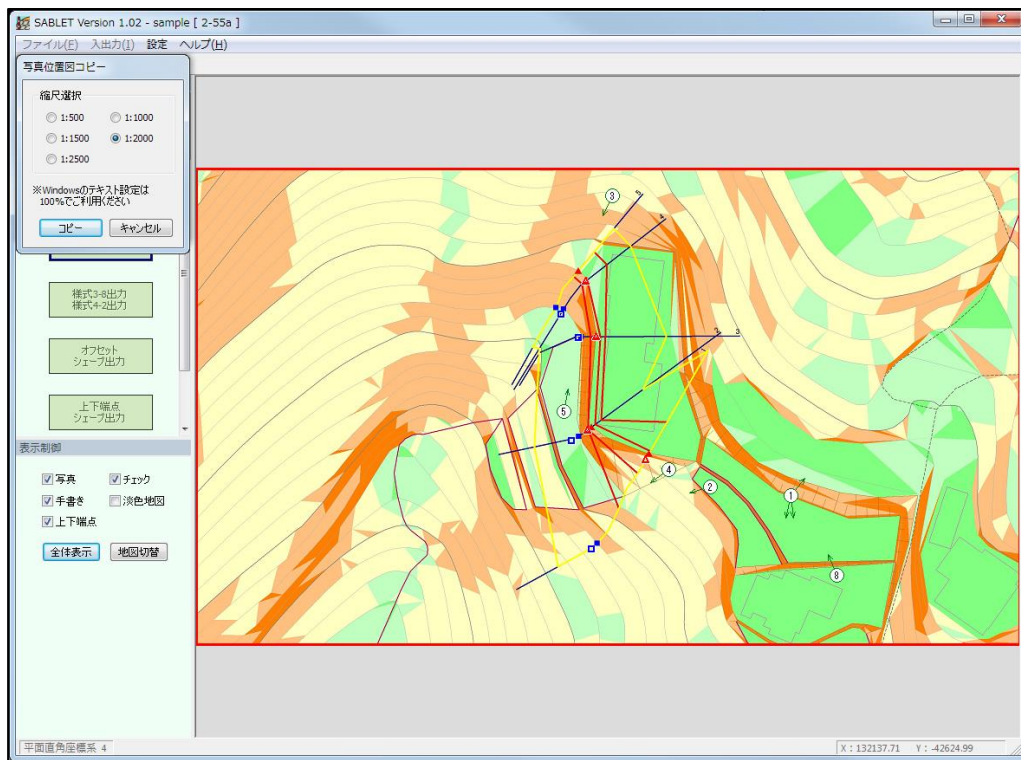
キャンセル

項目	説明
撮影日	[写真一覧]画面で設定した調査年月日と共通です。
4-2 写真 測線番号	帳票 4-2 で測線に貼りつける写真を設定できます。 1つの測線に設定できる写真は1枚のみです。
3-8 写真番号	帳票 3-8 に出力する写真を任意の番号を設定して選択することが出来ます。
3-8 コメント	[写真一覧]画面で設定した現場コメントと共通です。
現地写真番号	現在選択している写真を表示します。 クリックすると別画面が開き、より大きな画像で見ることが出来ます。
測線番号	カーソルが[4-2 写真 測線番号]にあり、かつ測線番号が入力されていた場合その測線を表示します。
設定エラー	設定にエラーがあると、赤字で警告が表示されます。

5.2. 様式 3-7 写真位置コピー

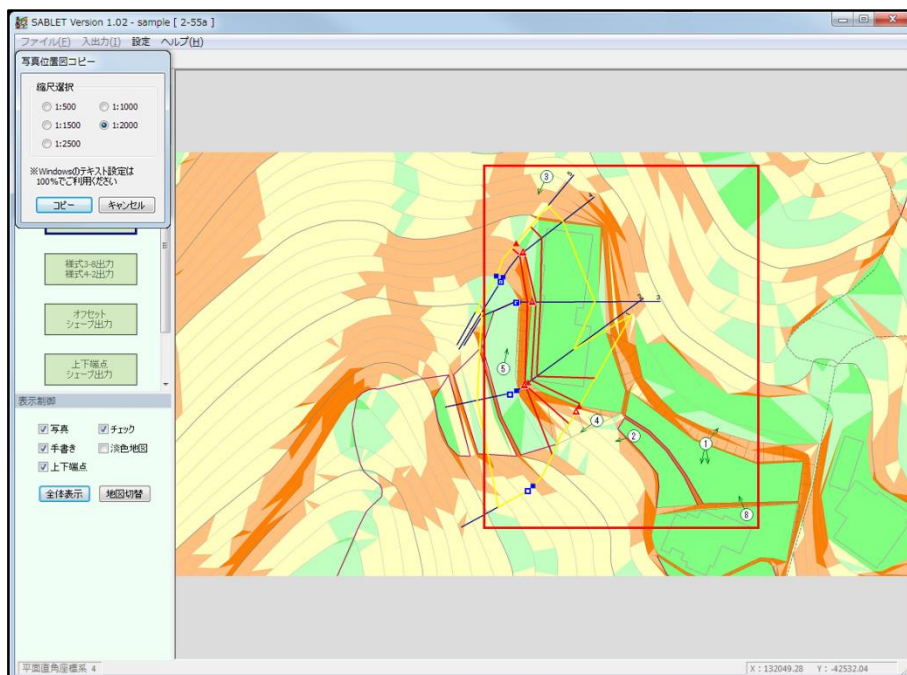
様式 3.7 へ貼り付ける写真の位置と方向をクリップボードへコピーします。

- (1) フローの **様式 3-7 写真位置コピー** をクリックすると、[写真位置図コピー] の画面が開きます。

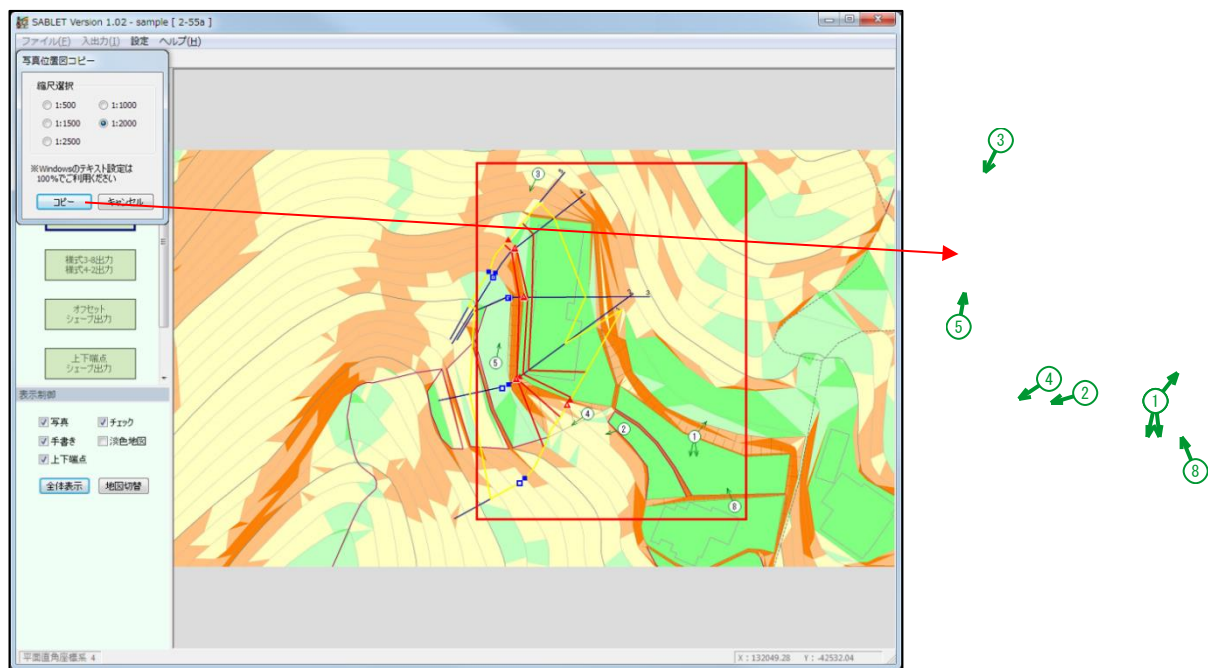


- (2) 貼り付け先の縮尺を選択してください。

- (3) メイン画面に表示された赤枠が出力範囲となりますので、コピーしたい写真位置がおさまるようマウスで設定してください。



(4) [コピー]ボタンを押すとクリップボードへコピーされるので、様式 3-7 へ貼り付け位置の調整を行ないます。



5.3. 様式 3-8 出力 様式 4-2 出力

フローの **様式 3-8 出力 様式 4-2 出力** をクリックすると、次の画面が開きます。

出力選択

☒ 様式 3-8
出力する写真番号 ~ ☒ 全て出力

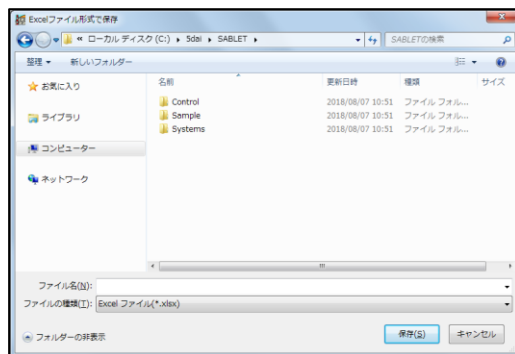
☒ 様式 4-2
出力する測線番号 ~ ☒ 全て出力
測線番号オフセット
調書上の測線番号 ~
背景地図番号

※ 出力が重い場合は、複数回に分けて出力してください。

項目	説明
様式 3-8	チェックを外すと調書に様式 3-8 は出力されません。
出力する写真番号	調書に出力する写真を指定できます。 [調書設定]画面で[3-8 番号]として入力した番号の範囲で入力してください。
全て出力	チェックを付けると、[調書設定]画面で 3-8 写真番号として数字を振った全ての写真を出力します。
4-2 様式	チェックを外すと調書に様式 4-2 は出力されません。
出力する測線番号	調書に出力する測線を指定できます。
全て出力	チェックを付けると、全ての測線を出力します。
測線番号オフセット	調書上で表示する測線番号を、実際の番号からこの数値分ずらすことができます。
調書上の測線番号	調書で表示される測線番号の範囲です。
背景地図番号	調書に出力する平面図を描画する際の背景地図を選択します。

出力

クリックすると【Excel ファイル形式で保存】画面が開きます。
調書を Excel ファイルで出力します。



様式 3-8 へは、以下のように本システムの入力が反映されます。

プロジェクト設定

自然現象の種類	急傾斜地の崩壊
調査機関	B市事務所
調査年度	平成29年度
提出先	A県

区域情報


区域名	2-55a
箇所番号	2-55a
箇所名	C町(3)
所在地	B市C町

急傾斜地の崩壊区域調査書

様式3-8 現地写真・スケッチ等


急傾斜地の位置 箇所番号 2-55a 箇所名 C町(3) 所在地 B市C町 調査年度 平成29年度

写真番号:①



調査地全景
横断測線No.1付近

写真番号:②



平地
上端部付近の斜面状況。

調査年月日 平成29年8月3日

調査年月日 平成29年8月3日


A県

調査設定

現地写真と、調査の測線・写真番号の対応を設定します

現地 写真番号	撮影日	4-2 写真 測線番号	3-8 写真番号	3-8 コメント
1	平成29年8月3日			1 調査地全景
2	平成29年8月3日	3		横断測線No.3付近の斜面状況
3	平成29年8月3日	1		横断測線No.1付近の斜面状況
4	平成29年8月3日			3 横断測線No.1付近の斜面状況
5	平成29年8月3日	2		横断測線No.2付近の斜面状況
6	平成29年8月3日			5 左端外側の斜面状況
7	平成29年8月3日			4 横断測線No.2付近の斜面状況
8	平成29年8月3日			2 平地

現地写真番号 1



測線番号 未選択

測線番号範囲 1～3

現地写真番号範囲 1～8

設定エラー
なし

OK キャンセル

追加コメントが入力されている場合は以下のように現場コメントの次の行に挿入されます。

急傾斜地の崩壊区域調査

様式3-B 現地写真・スケッチ等

調査年度

平成29年度

急傾斜地の位置	箇所番号	2-55a	箇所名	C町(3)	所在地	B市C町
---------	------	-------	-----	-------	-----	------

写真番号:①



調査地全景
横断測線No.1〜7付近

調査年月日 平成29年8月3日

写真番号:②



平地
上端部付近の斜面状況。

調査年月日 平成29年8月3日

A原

写真一覧

☐マウス操作

☒位置☐角度

写真取込

↑

↓

削除

現地写真番号	写真	X (m)	Y (m)	角度 (°)	調査年月日	ファイル名
1		182077.182	-42509.156	253.3	平成29年8月3日	P0001RIMG7887.JPG
2		182080.007	-42579.092	38.2	平成29年8月3日	P0023RIMG7909.JPG

現場コメント

調査地全景

追加コメント

横断測線No.1〜7付近

閉じる

46

様式 4-2 へは、以下のように本システムの入力が反映されます。

測線

追加 削除 表示切替 地図 地図切替 淡色地図 手書きメモ 出力範囲指定 施設情報 オフセット 修正 追加 削除

測線番号コピー

測線番号

1
2
3

現場コメント (自動コメント)

施設情報

下端点標高(m) 20.0

施設の有無 有 無

施設構造 施設タイプ 施設高(m) 施設勾配 1:n ポケット高(m) 施工効果 防護欄高(m)

種類 X(m) Y(m)

下端点 132064.75 -42578.68

上端点 132065.29 -42588.63

急傾斜地の崩壊区域調査

様式4-2 区域設定根拠断面図

急傾斜地の位置 箇所番号 2-55a 箇所名 C町3 所在地 B市C町 調査年度 平成29年度

横断測線番号 1

凡例

- 上端
- 下端
- 崩壊
- 崩壊測線
- 災害のおそれのある土地の区域
- 著しい災害のおそれのある土地の区域
- 土石等の移動による力が100kN/m²を超える範囲
- 土石等の堆積物が3mを超える範囲

スケッチ

当該斜面は現地状況と砂防基盤図が異なるため、ポール横断にて斜面状況(高さ、傾斜)の把握を行った。なお、斜面にはコンクリート擁壁が設置され、原因対策として評価した。

コンクリート擁壁

上端

下端

30°

5.00

調査設定

現地写真と、調査の測線・写真番号の対応を設定します

現地写真番号	撮影日	4-2 写真測線番号	3-8 写真番号	3-8 コメント
1	平成29年8月8日			1 調査地全景
2	平成29年8月8日			横断測線No.3付近の斜面状況
3	平成29年8月8日	1		横断測線No.1付近の斜面状況
4	平成29年8月8日			3 横断測線No.1付近の斜面状況
5	平成29年8月8日	2		横断測線No.2付近の斜面状況

現地写真番号 3 測線番号 1 測線番号範囲 1~3 現地写真番号範囲 1~8

設定エラー なし

OK キャンセル

追加コメントが入力されている場合は以下のように現場コメントの次の行に挿入されます。

測線

追加

削除

表示切替

地図

地図切替

淡色地図

手書きメモ

出力範囲指定

施設情報

オフセット

修正

追加

削除

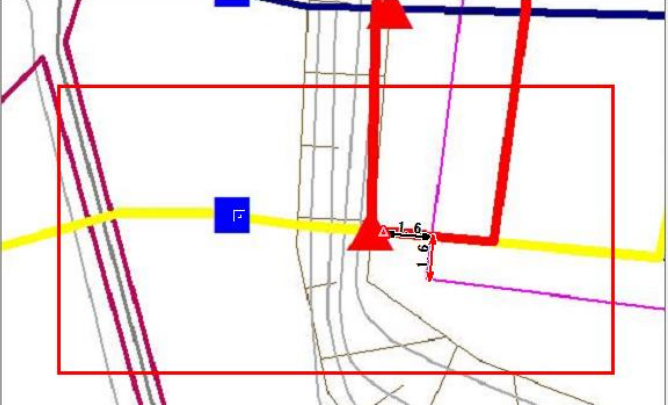
測線番号コピー

測線番号

1

2

3



現場コメント

追加コメント

基盤図と現地(ほぼ)整合していたため、写真・断面図に示す地点を下端とした。

・植生の状況(山地:草本類)

・湧水の状況(無し)

始点X

始点Y

表示文字

132063.07

-42577.09

132064.57

-42577.01

上下端点

修正

追加

削除

種類

X(m)

Y(m)

下端点

132064.75

-42578.68

上端点

132065.29

-42583.63

閉じる

様式4-2 区域設定根拠断面図

急傾斜地の位置

箇所番号

2-55a

箇所名

C町(3)

所在地

B市C町

調査年度

平成29年度

横断測線番号

1

凡例

上端

下端

崖頂

崖面崩壊

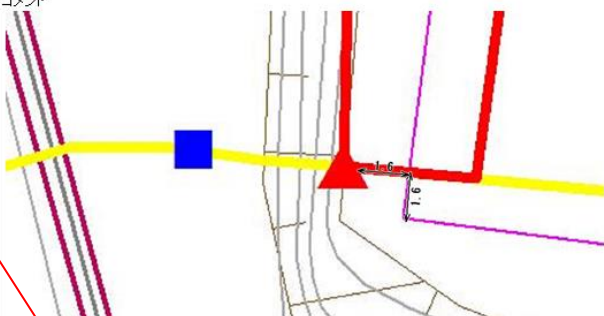
危険のおそれのある土地の区域


家屋の危険のおそれのある土地の区域

土石等の崩壊による力が100kN/m²を超える範囲

土石等の崩壊量が5cmを超える範囲

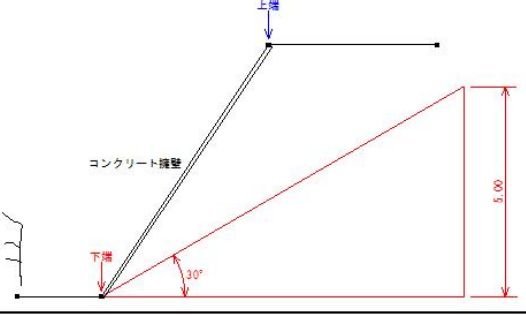
コメント





スケッチ

当該斜面は崖地状況と砂防整備図が異なるため、ポール横断にて斜面状況(高さ、傾斜)の把握を行った。なお、斜面にはコンクリート擁壁が設置され、原因対策として評価した。

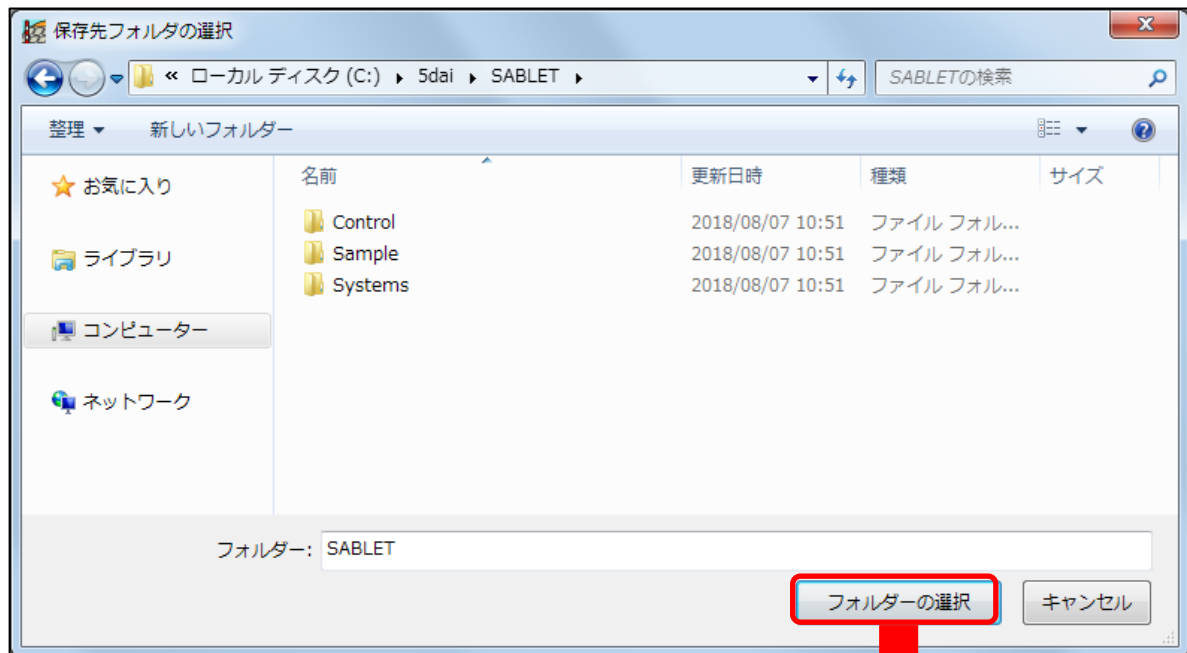


A原

48

5.4. 様式 3-8, 4-2 画像出力

フローの「様式 3-8, 4-2 画像出力」をクリックすると、「様式 3-8 出力 様式 4-2 出力」と同様に出力選択画面が開きます。
出力を選択すると、【保存先フォルダの選択】画面が開きます。
出力選択した画像を指定したフォルダへ保存します。

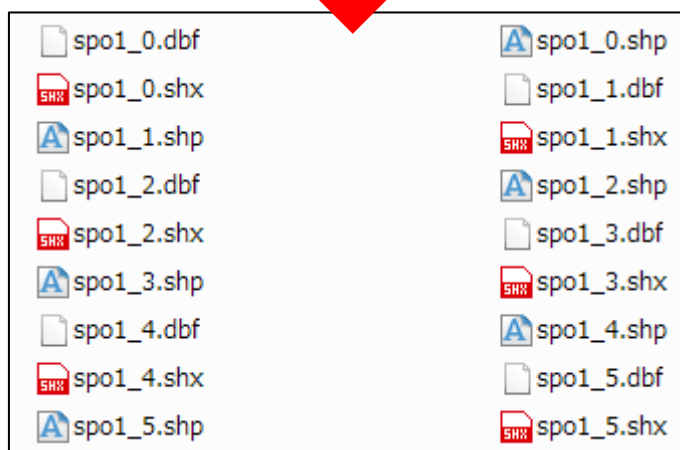
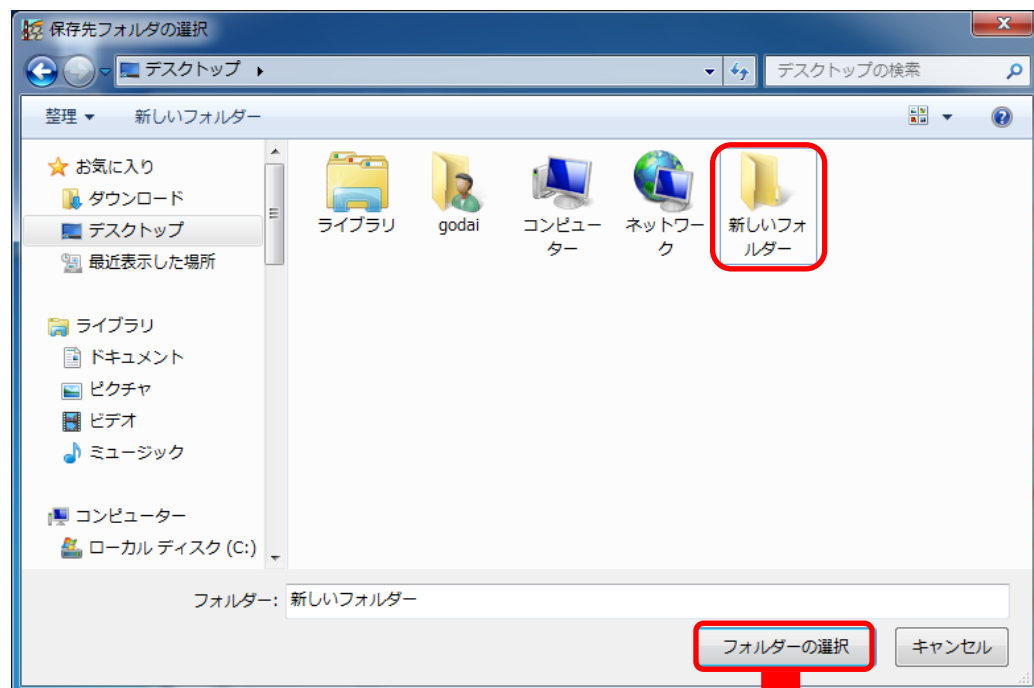


5.5. オフセットシェープ出力

オフセットの位置をシェープファイルへ出力します。

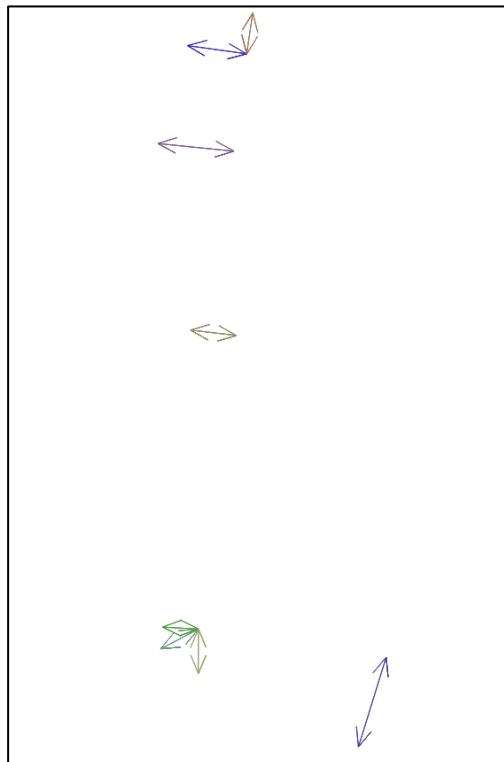
出力したシェープファイルは、フロンティアのシステムへ補助点として入力できます。

(1) [オフセットシェープ出力]ボタンをクリックすると、【フォルダーの選択】画面が開きます。保存先フォルダを選択し、【フォルダーの選択】ボタンをクリックしてください。すると、指定したフォルダにオフセットのシェープファイルが出力されます。



(2)これらのシェープファイルをフロンティアのシステムへ補助点として登録してください

【出力されたオフセットのシェープファイル】



【元のオフセットの位置】

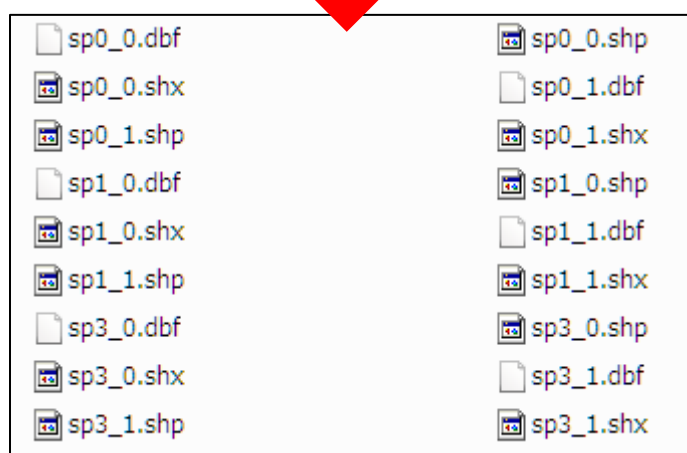
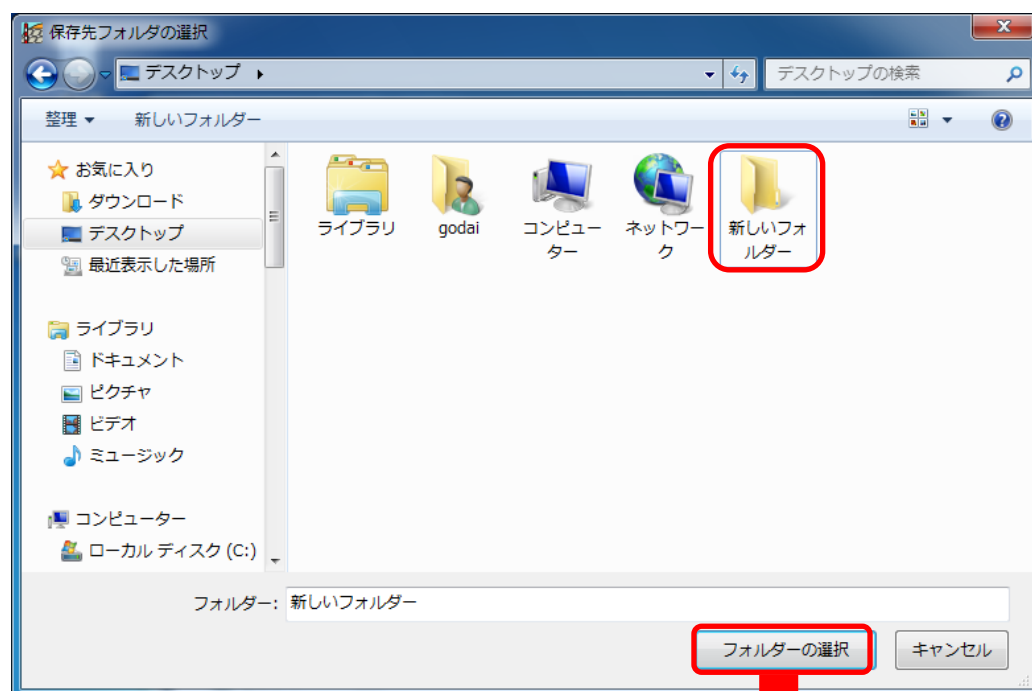


5.6. 上下端点シェープ出力

上端点・下端点の位置をシェープファイルへ出力します。

出力したシェープファイルは、フロンティアのシステムへ補助点として入力できます。

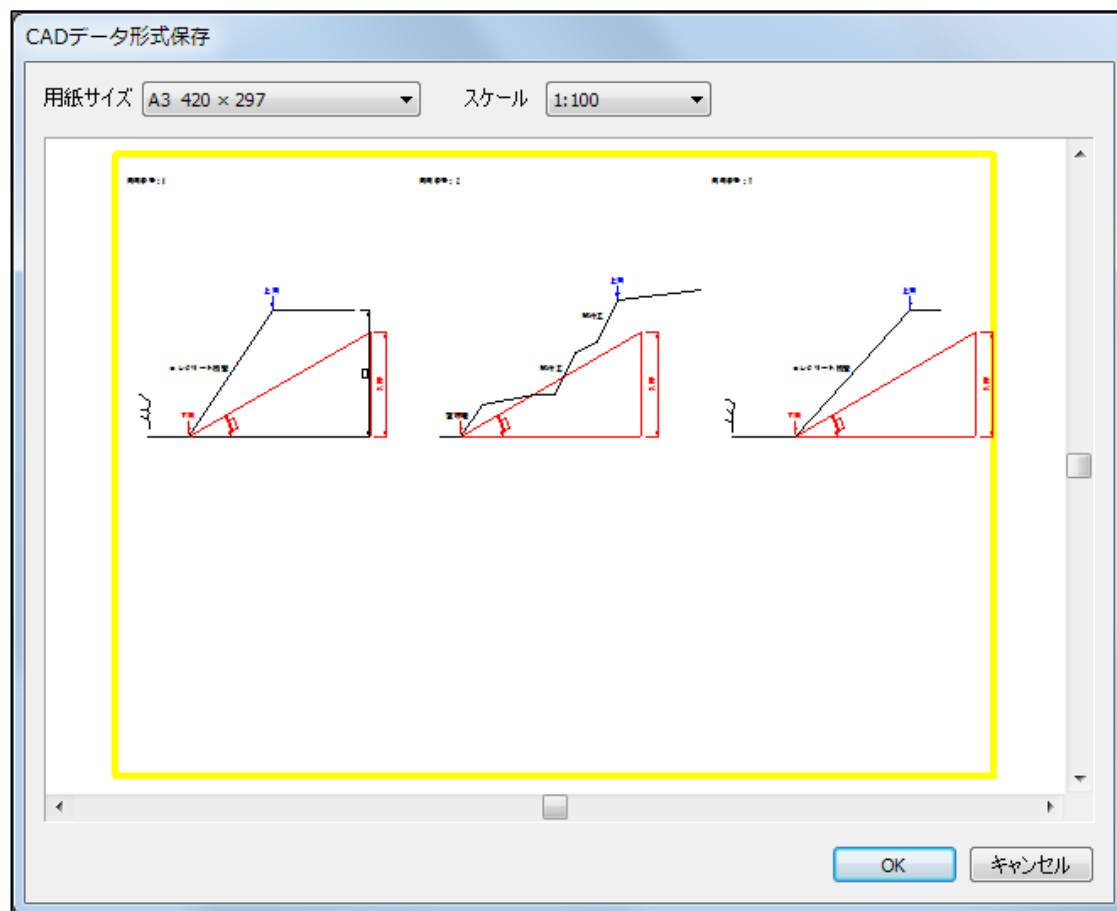
(1) [上下端点シェープ出力]ボタンをクリックすると、【フォルダーの選択】画面が開きます。保存先フォルダを選択し、【フォルダーの選択】ボタンをクリックしてください。すると、指定したフォルダに上端点・下端点のシェープファイルが出力されます。



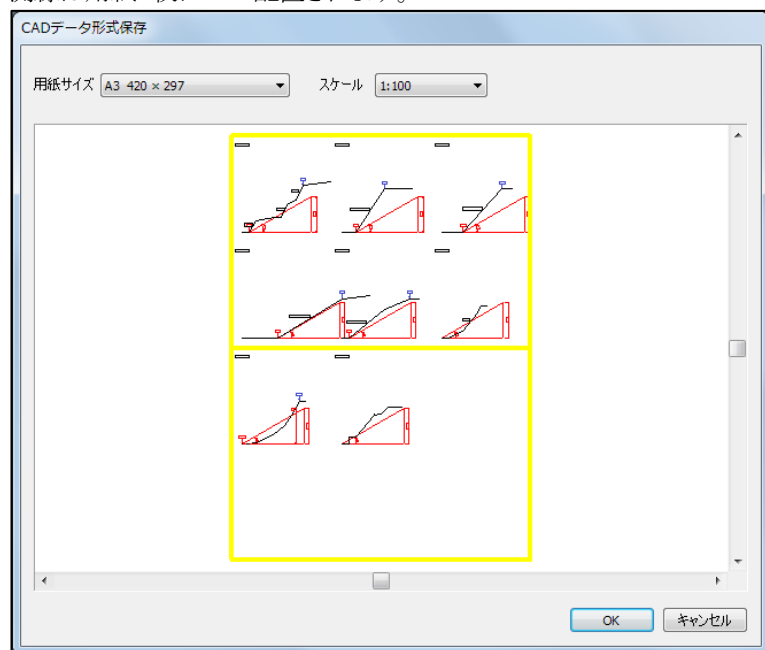
【出力された上下端点のシェープファイル】

5.7. 測線 CAD 出力

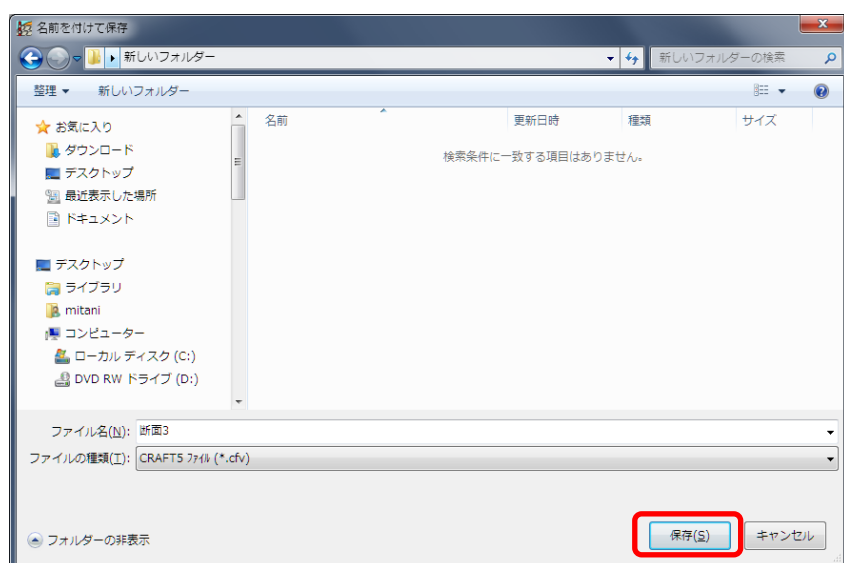
フローの **測線 CAD 出力** をクリックすると、【CAD データ形式保存】画面が表示されます。



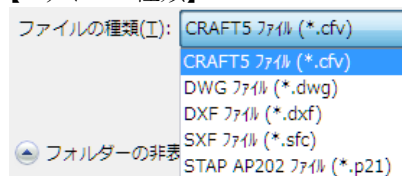
測線は用紙1枚に 6 つ配置されます。



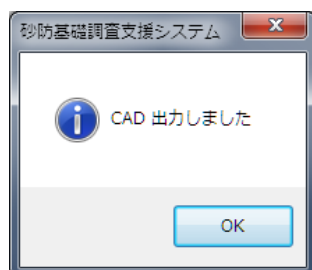
(1) 【OK】ボタンをクリックすると【名前を付けて保存】画面が開きますので、保存の場所・ファイル名・ファイルの種類を設定して【保存】ボタンをクリックします。



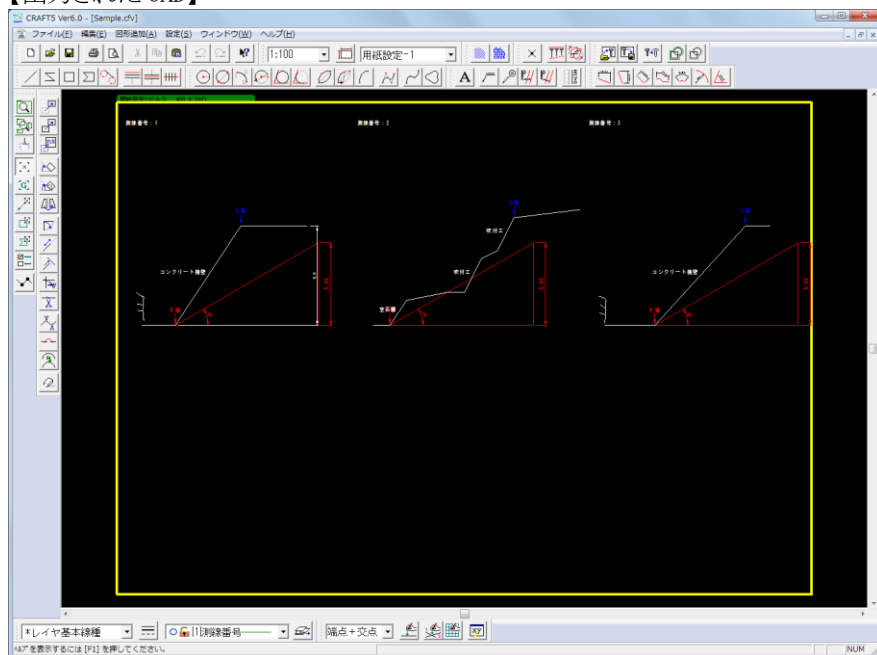
【ファイルの種類】



(2) CAD ファイルが出力され、以下のメッセージが表示されます。



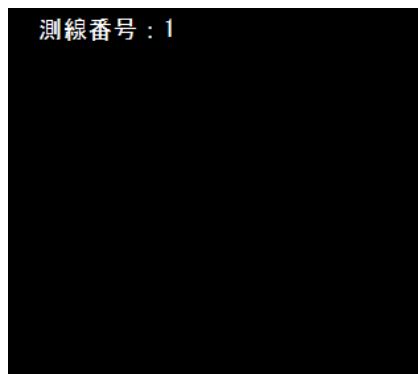
【出力された CAD】



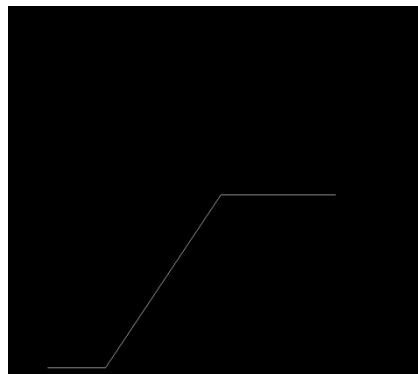
出力された CAD は測線番号、断面、基準角度、はたあげ、傾斜種類、寸法、手書き線の 7 つのレイヤーに分かれています。

レイヤ使用状況						
No.	見出し	レイヤ名	追加	表示	編集	基本線種
1	測線番号	NUMBER				直線
2	断面	DANMEN				直線
3	基準角度	BASEANGLE				直線
4	はたあげ	HATA				直線
5	傾斜種類	SLOPETYPE				直線
6	寸法	SIZE				直線
7	手書き線	MEMOLINES				直線

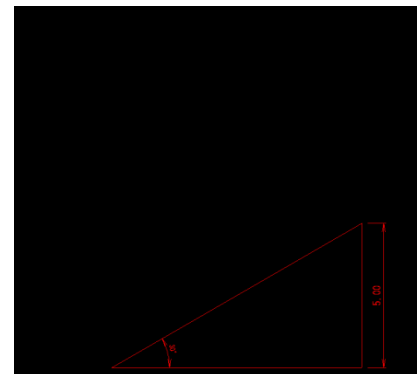
【測線番号】



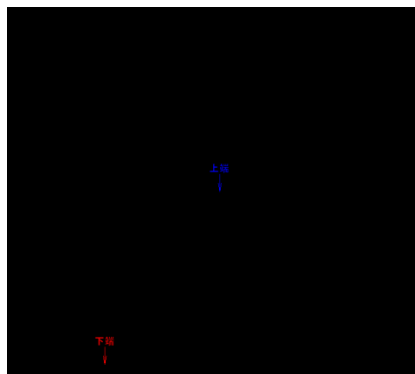
【断面】



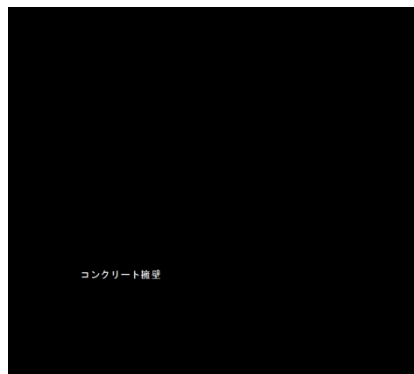
【基準角度】



【はたあげ】



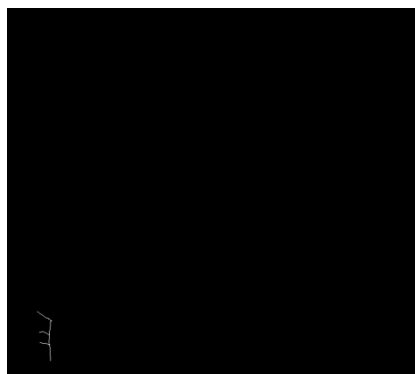
【傾斜種類】



【寸法】



【手書き線】



(空白ページ)

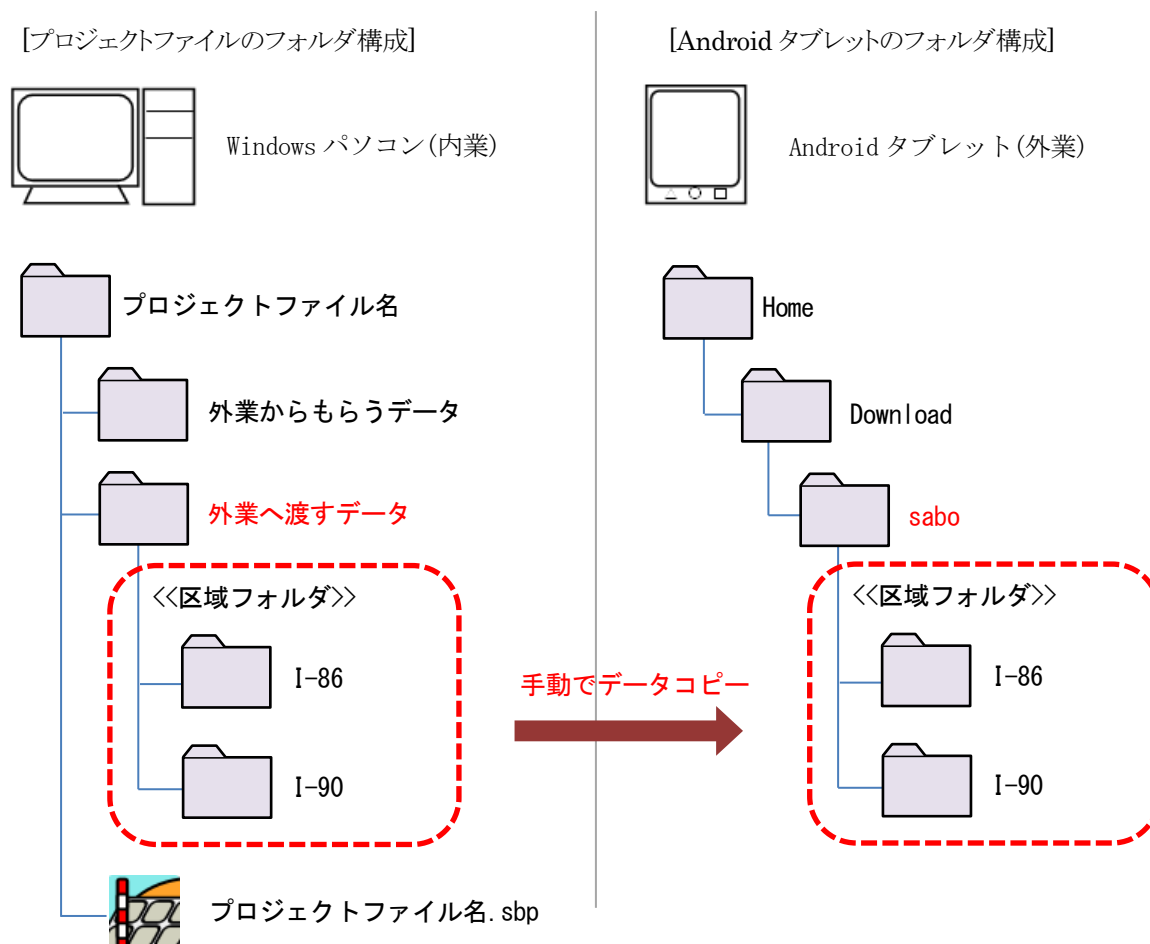
6. 外業とのデータの受け渡し

6.1. Windows パソコン(内業)と Android タブレット(外業)間でのデータの受け渡し

「SABLET」を起動し、プロジェクト設定を行うとプロジェクトファイル(.sbp)が保存されます。

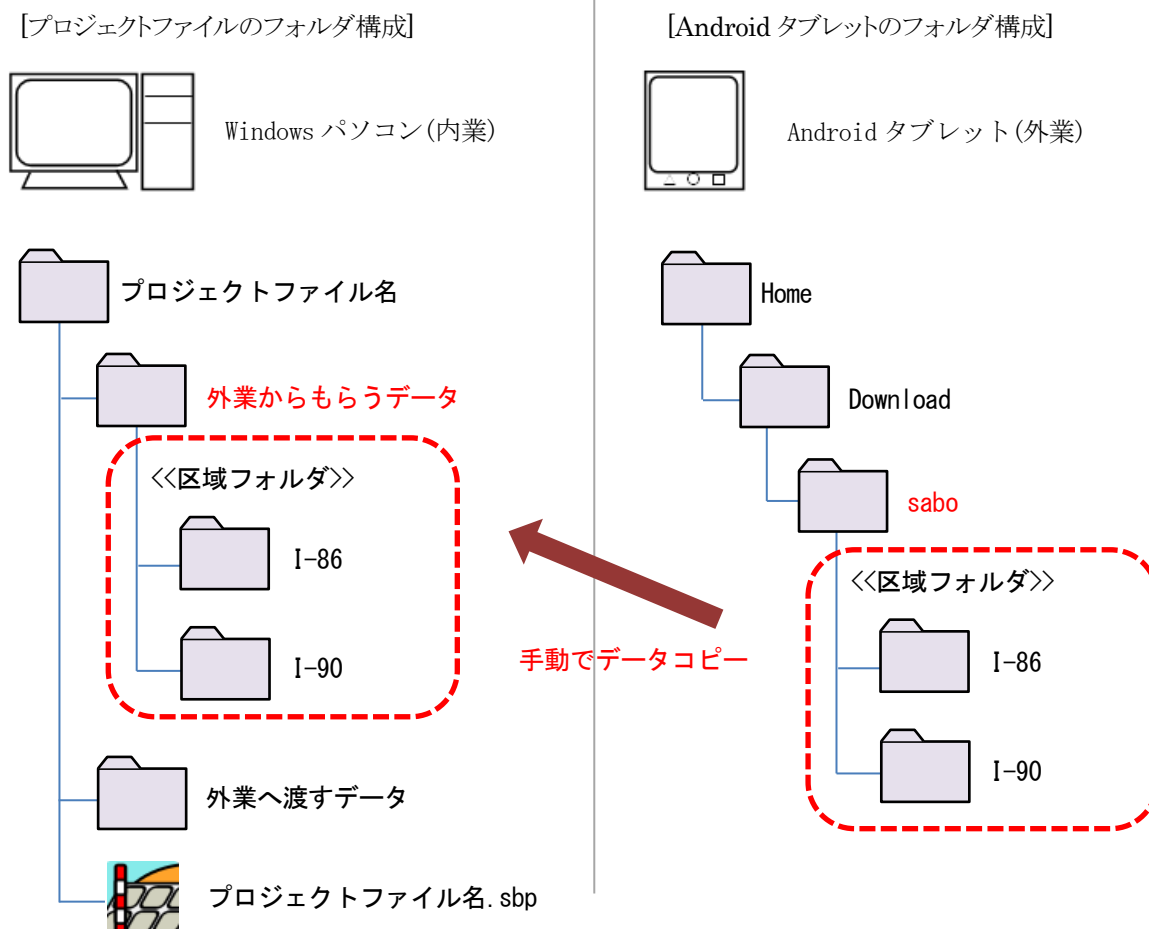
保存されたプロジェクトファイルは、以下のフォルダ構成となります。また、外業を行う際の Android タブレット(外業)のフォルダ構成は以下となります

■ Windows パソコン(内業)から Android タブレット(外業)へ



内業で保存されたプロジェクトファイルのデータを、外業の Android タブレットへ移行させるには、プロジェクトファイル内の「外業へ渡すデータ」フォルダの中の区域フォルダを手動で、Android タブレットの「sabo」フォルダにコピーしてください。

■Android タブレット(外業)から Windows パソコン(内業)へ

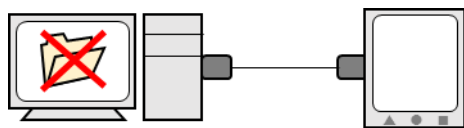


Android タブレット(外業)から Windows パソコン(内業)へデータ移行させるには、Android タブレット(外業)の「sabo」フォルダから、Windows パソコン(内業)の「外業からもらうデータ」フォルダの中の区域フォルダを手動でコピーしてください。

■ 注意事項 ■

[外業へ出力]・[外業から入力] を行う場合は、以下の点にご注意下さい。

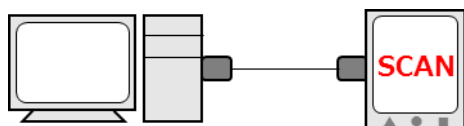
(1) 区域フォルダ/ファイルは閉じてください



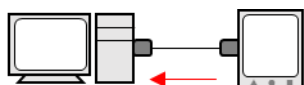
エクスプローラーやテキストエディタ・画像ビューワー等で、区域フォルダやその中のファイルを開いている場合、フォルダ内の書き換えができず入力/出力やコピーが失敗することがあります。

外業とデータの入出力を行なう場合は、これらフォルダ/ファイルを閉じてください。

(2) タブレットのファイルスキャンが必要です



パソコンとタブレットを接続したままタブレット側のデータを更新した場合、パソコン側にタブレットのファイルが正しく伝わらない場合があります。

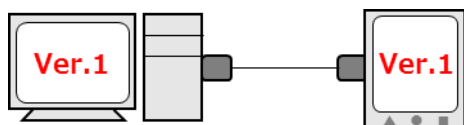


SCANを行なわないと、正しく伝わらない

これを防ぐためにタブレットでファイルスキャンを行ってください。

※マニュアル添付の「タブレットでのファイルスキャン方法」を参照ください。

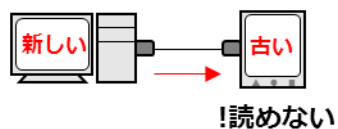
(3) [内業システム] と [外業システム] のバージョンを合わせてください



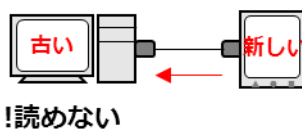
本システムのバージョンが上がったとき、[内業システム] と [外業システム] は同時にバージョンアップを行ない、バージョンを合わせてください。

古いバージョンでは新しいバージョンのファイルを読めず、以下ようになります。

内業システムが新しい場合




外業システムが新しい場合

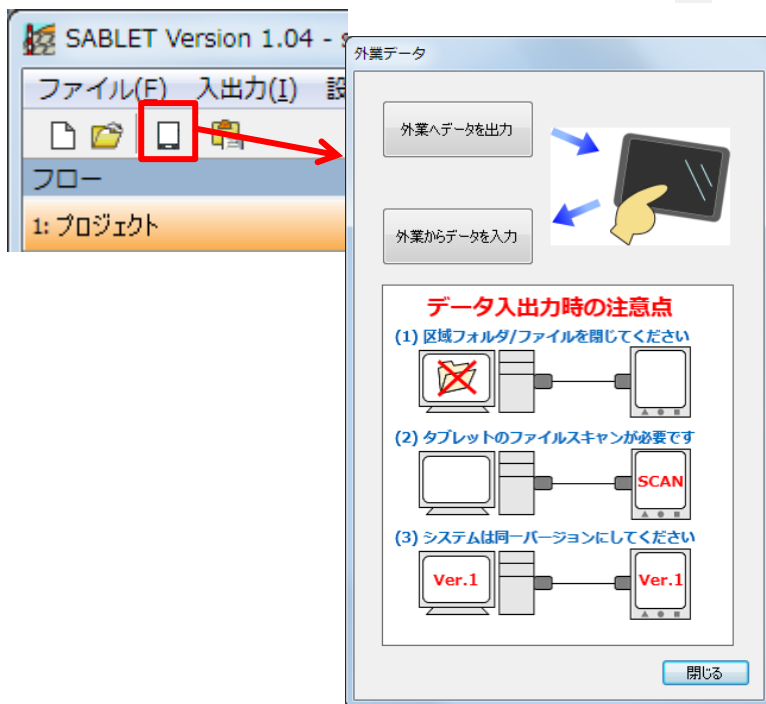


6.2. 外業へデータを出力(区域情報を出力)

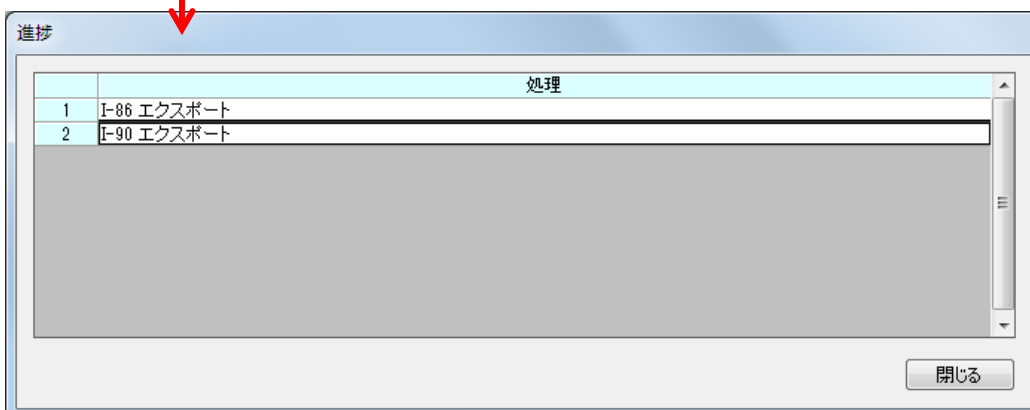
区域情報、地図読込が終わったら、外業用の Android タブレットへデータを出力できます。

■Windows パソコンから Android タブレットへデータのコピー

メニュー[入出力]-[外業データ]をクリックするか、ツールバーの  アイコンをクリックすると次の画面が開きます。



[外業へデータを出力]をクリックすると、外業へ出力画面が開きます。出力する区域名にチェックを付けて出力を行って下さい。データのエクスポートが完了します。



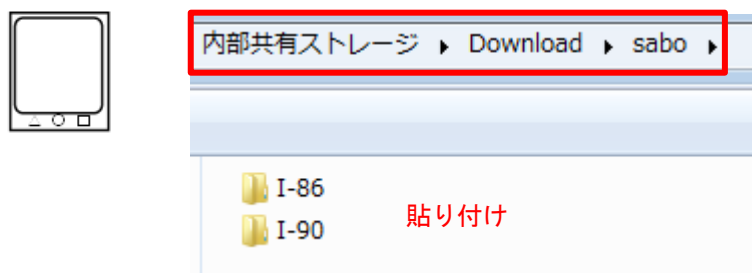
Windows パソコンで、プロジェクトファイルが保存されているフォルダの「外業へ渡すデータ」フォルダ内に、Android タブレットへ渡すデータが作成されますので、フォルダごとコピーを行って下さい。

次に、Android タブレット内の Download/sabo フォルダ内に、データの貼り付けを行って下さい。(2.2.2 入出力 外業データ参照)

<< Windows パソコン >>



<< Android タブレット >>



6.3. 外業からデータを入力(写真一覧へ取り込み)

外業用 Andoird タブレットへ入力したデータを取り込むには、Android タブレットから Windows パソコンへデータのコピーを行います。

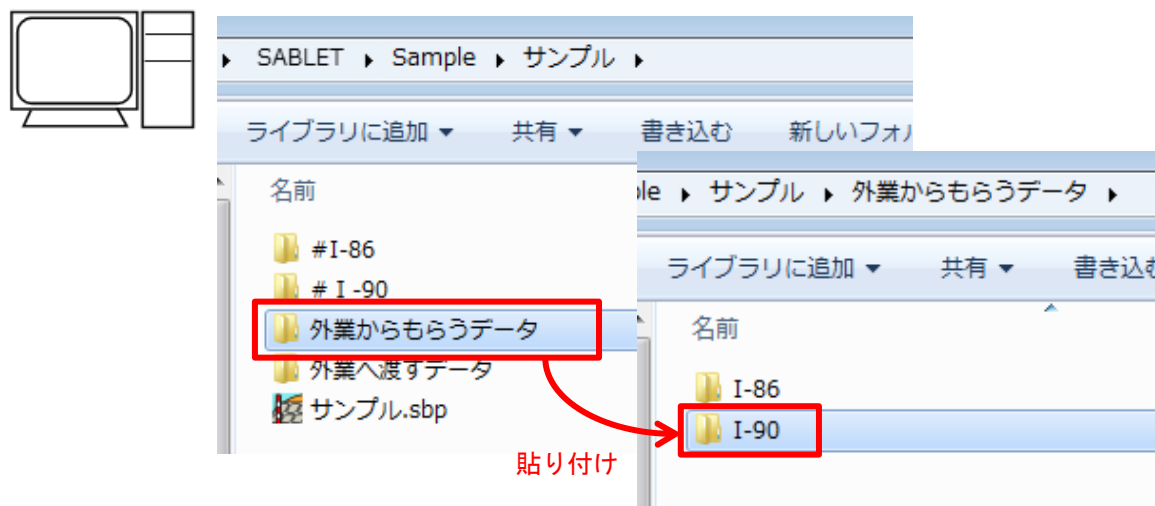
■Androidタブレットから Windows パソコンへデータのコピー


Android タブレット内の Download/sabo フォルダの中に取り込みを行いたい区域名フォルダがありますので、フォルダごと、Windows パソコンのプロジェクトファイルが保存されているフォルダの中の「外業からもらうデータ」フォルダの中にコピーを行って下さい。

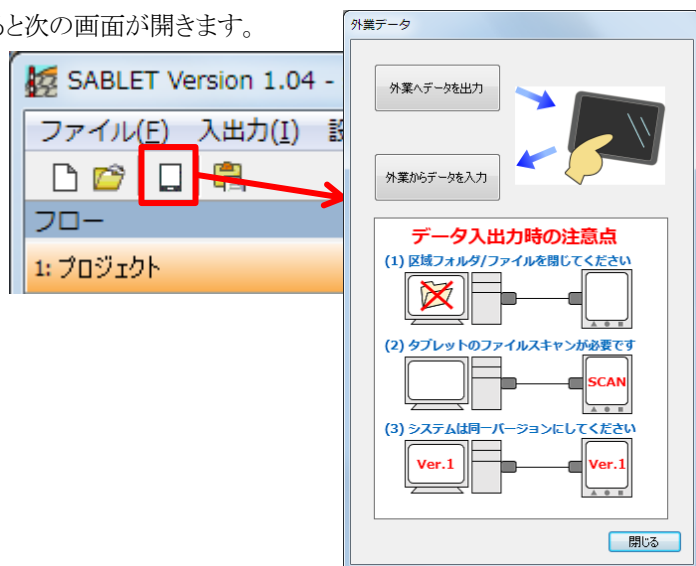
<< Android タブレット >>



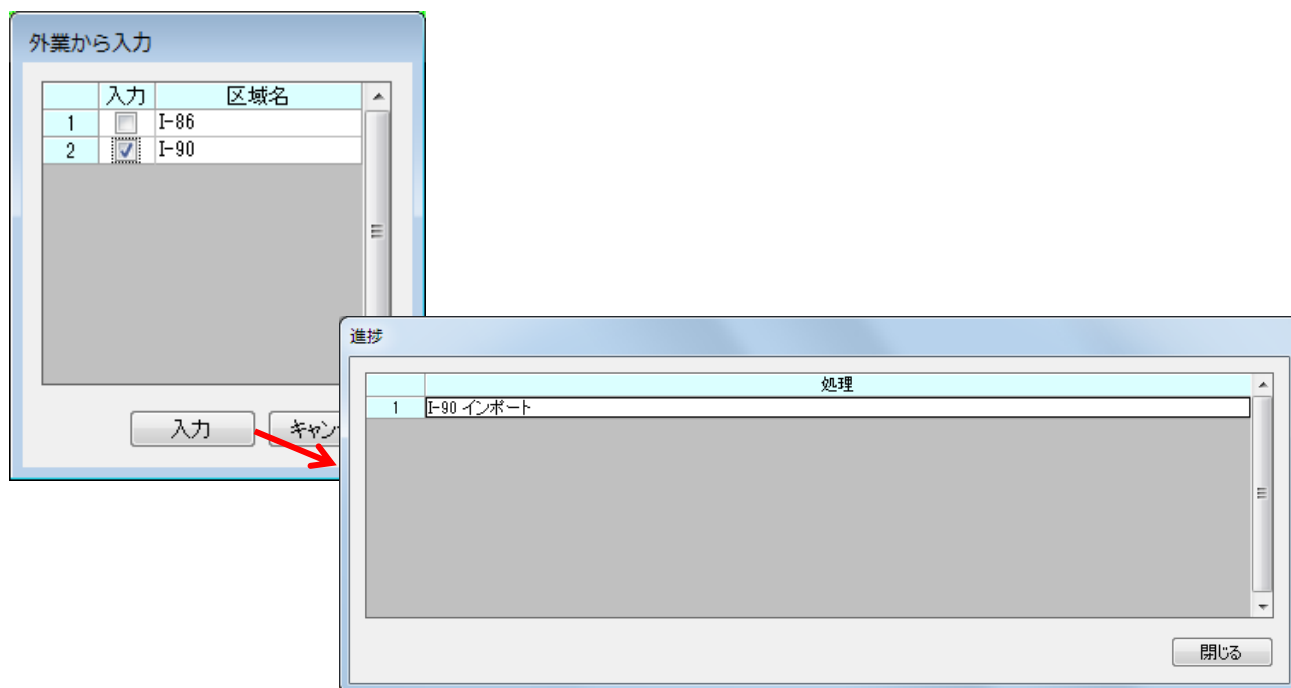
<< Windows パソコン >>



データ移行が終わりましたら、メニュー[入出力]-[外業データ]をクリックするか、ツールバーの  アイコンをクリックすると次の画面が開きます。



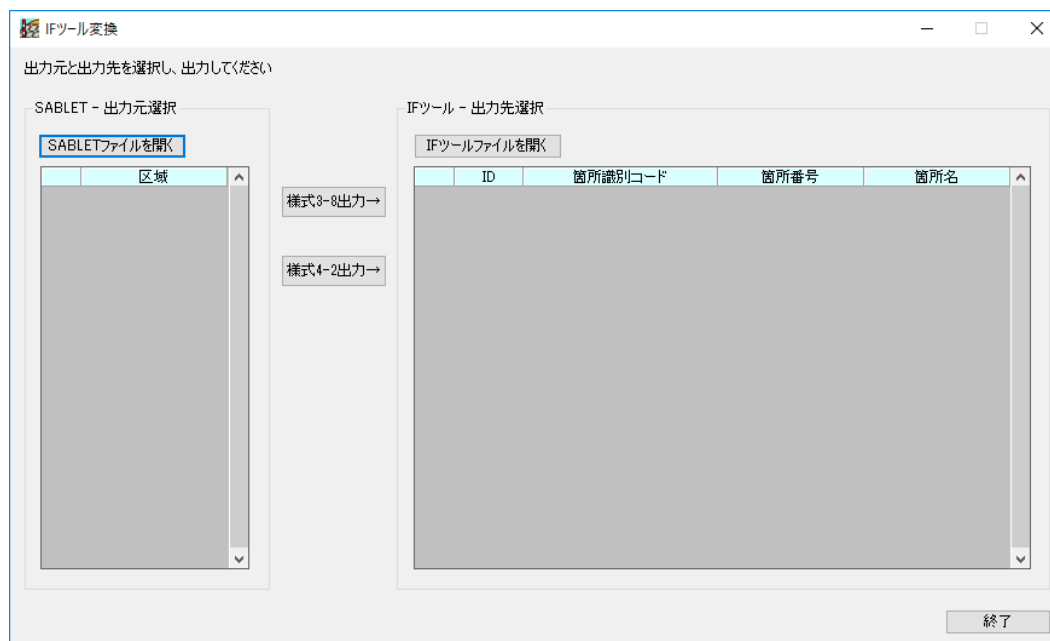
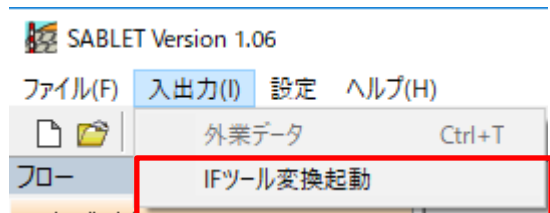
[外業からデータを入力]をクリックすると、次の画面が開きます。外業から入力を行いたい区域にチェックを付けて[入力]を押すと進捗画面が表示されます。インポート完了後、フロー写真一覧をクリックすると写真の一覧が取り込まれています。



(空白ページ)

7. IF ツール変換

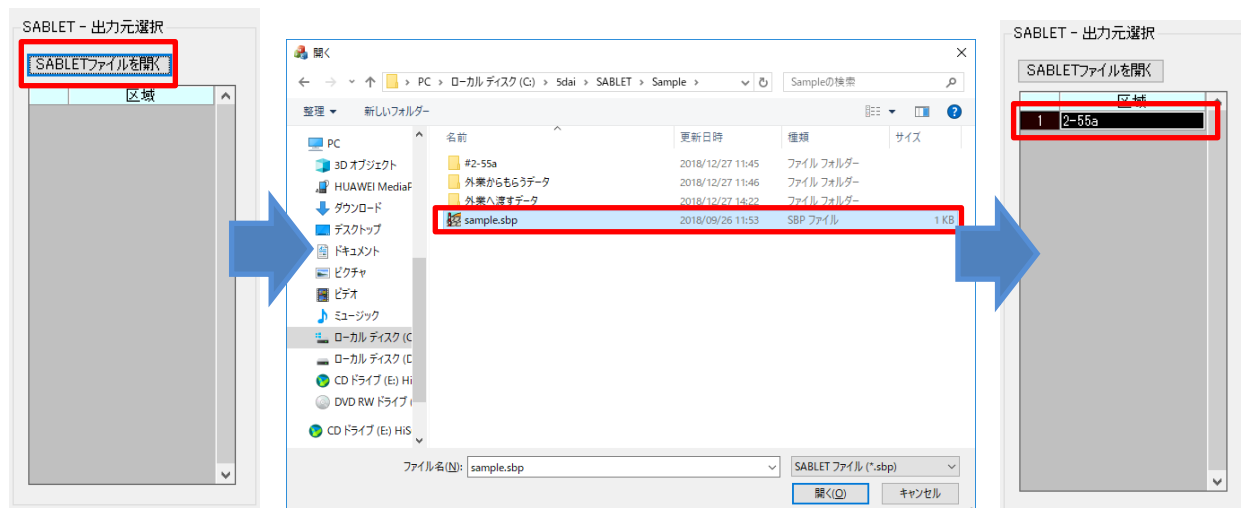
SABLET[内業システム]の [入出力] – [IF ツール変換起動] をクリックすると起動します。



※注意

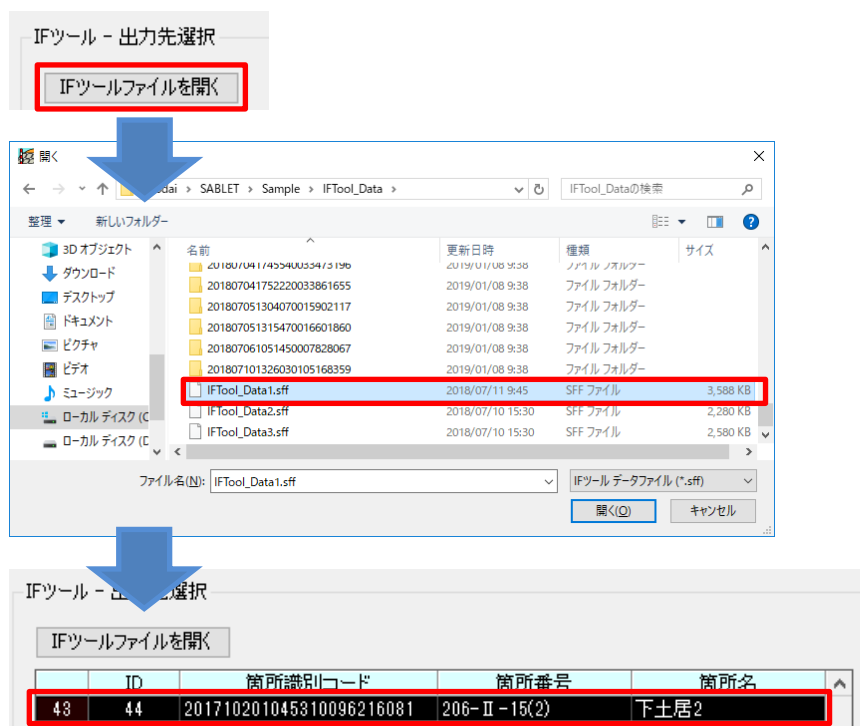
こちらにてIFツールのデータに書込む場合は、砂防フロンティアから作成して編集前のファイルをご使用ください。もし、編集後のファイルに書込みたい場合は、**必ずバックアップ**を取ってください。ファイルが破損した際には、責任を取りかねます。

7.1. SABLET ファイルを選択



SABLET 保存データを開き、出力する区域を選択してください。

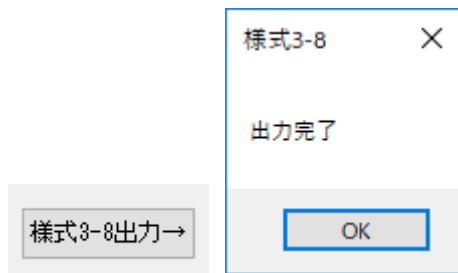
7.2. IF ツールファイルを選択



IF ツールの「IFTool_Data1.sff」ファイルを開き、書込む箇所を選択してください。

7.3. 様式 3-8 出力

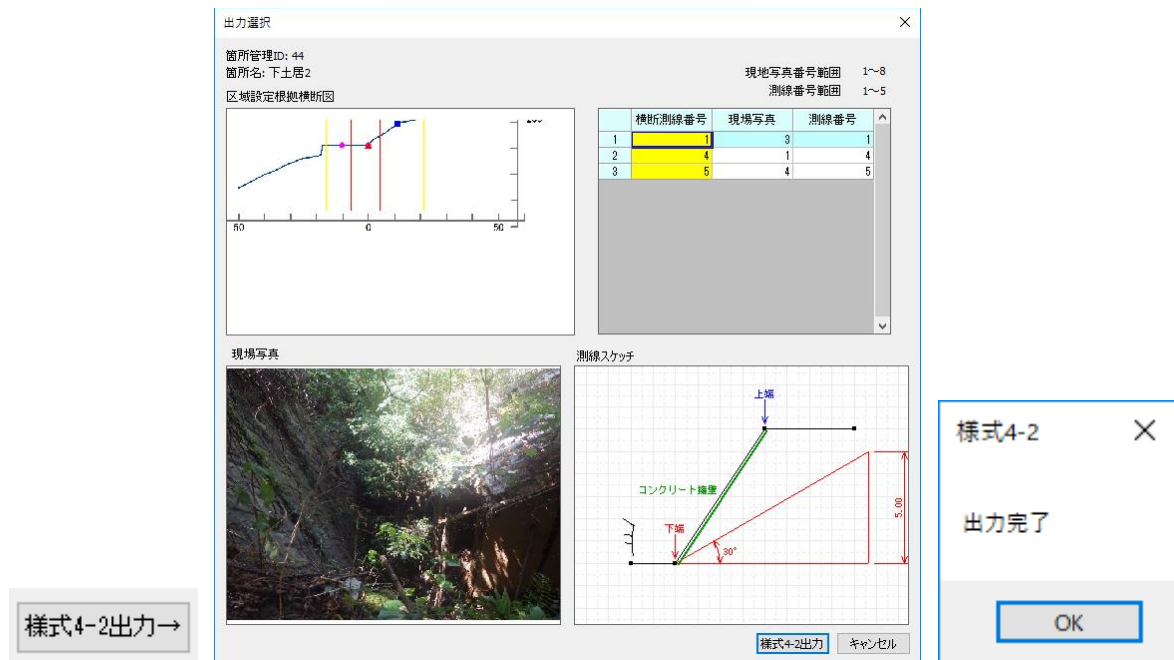
様式 3-8 の画像を IF ツールファイルに設定します。



SABLET の [調査設定] にて設定した現地写真を IF ツールの様式 3-8 に書込みます。

7.4. 様式 4-2 出力

様式 4-2 の画像を IF ツールファイルに設定します。



SABLET の [調査設定] にて設定した現地写真を IF ツールの様式 4-2 に書込みます。
また、区域設定根拠横断面図と設定写真とスケッチが一致してるか確認・変更が可能です。

(空白ページ)

サポート情報

製品サポート情報

当社では独自のユーザーサポートシステムを設け、オフィシャルユーザーとしてご登録いただいたユーザーの方々に
対し、きめ細かなサポートサービスを行っております。当社のアプリケーションについてのお問い合わせは、「問い合わせ
シート」をご利用下さい。

オフィシャルユーザー登録につきましては、製品のご購入の時点でオフィシャルユーザーとして登録させていただきます。
製品発送時に、「ユーザー登録完了のお知らせ」を同封いたします。製品のお問い合わせには「ユーザー登録完了
のお知らせ」をご用意の上、ご連絡下さい。担当者変更の際にはFAX または郵送にてお知らせ下さい。バージョンアッ
プの情報提供などをご案内させていただきます。

ユーザーサポート連絡先

〒921-8051 石川県金沢市黒田 1 丁目 35 番地

五大開発株式会社 システム技術部 ユーザーサポート係

TEL 050-3385-2996 { 祝祭日と年末年始を除く月～金曜 9:00～12:00/13:00～17:00 }

FAX 076-240-9585

ホームページアドレス <http://www.godai.co.jp/>

E-Mail アドレス pp-info@godai.co.jp

お問い合わせ

当社のアプリケーションについてのお問い合わせは、このお問い合わせシートをコピーし、下記の事項をご記入いただいたうえで、ユーザーサポート係までご連絡ください。

	年	月	日	この紙を含めて()枚	
五大開発株式会社 ユーザーサポート係 電話(直通) 050-3385-2996 FAX (076) 240-9585	会社名				
	所属部署				
	担当者				
	住所				
	電話				
	FAX				
プログラム名 : 砂防基礎調査支援システム SABLET					
プログラムのシリアル No. * ¹ :					
プログラムのバージョン* ² :					
Windows のバージョン* ³ :					
コンピュータの機種 :メーカー名 機種名 CPU 名					
全メモリ容量 :					
プリンタの機種 :メーカー名 機種名					
その他の周辺機器 :					
[お問い合わせ内容]					
1. プログラムのシリアル No.は、CD ケースの側面に記載されています。					
2. プログラムのバージョンは、[ヘルプ]－[バージョン情報]で確認できます。					
3. Windows のバージョンは[マイコンピュータ]の[プロパティ]－[情報]のシステムの項目で確認できます。					

SABLET 取り扱い説明書

2019 年 1 月 9 日 8 版 1 刷

編著者 五大開発株式会社

発行者 五大開発株式会社

〒921-8051 石川県金沢市黒田1丁目 35 番地

TEL 050-3385-3063 FAX 076-240-9585



五大開発株式会社

石川県金沢市黒田 1 丁目 35 番地

TEL 050-3385-3063 (直通)

FAX 076-240-9585